

水道工事設計標準図

平成 27 年 4 月
広島市水道局

適用

この水道工事設計標準図は、水道工事において使用する標準的な弁室等についてまとめたもので、広島市土木工事設計標準図と併せて使用することとするが、適用にあたっては条件等に十分留意すること。

取扱い

この水道工事設計標準図及び広島市土木工事設計標準図による場合は、当該工種の略称を設計図書に記入することとし、当該工種の図面は原則として設計図書に添付しないこととする。

なお、単口消火栓室（75 mm）、ソフトシール仕切弁室（75 mm～400 mm）、アスファルト舗装復旧断面図及びコンクリート舗装復旧断面図については、設計図書への略称の記入も省略することとする。

・水道工事設計標準図の略称

水－標－○

水 ー水道局

標 ー水道工事設計標準図を示す

○ ー水道工事設計標準図の頁数を示す

・広島市土木工事設計標準図の略称

市－標－○（ ）

市 ー広島市

標 ー広島市土木工事設計標準図を示す

○ ー広島市土木工事設計標準図の頁数を示す

（ ） ー規格を明記すること

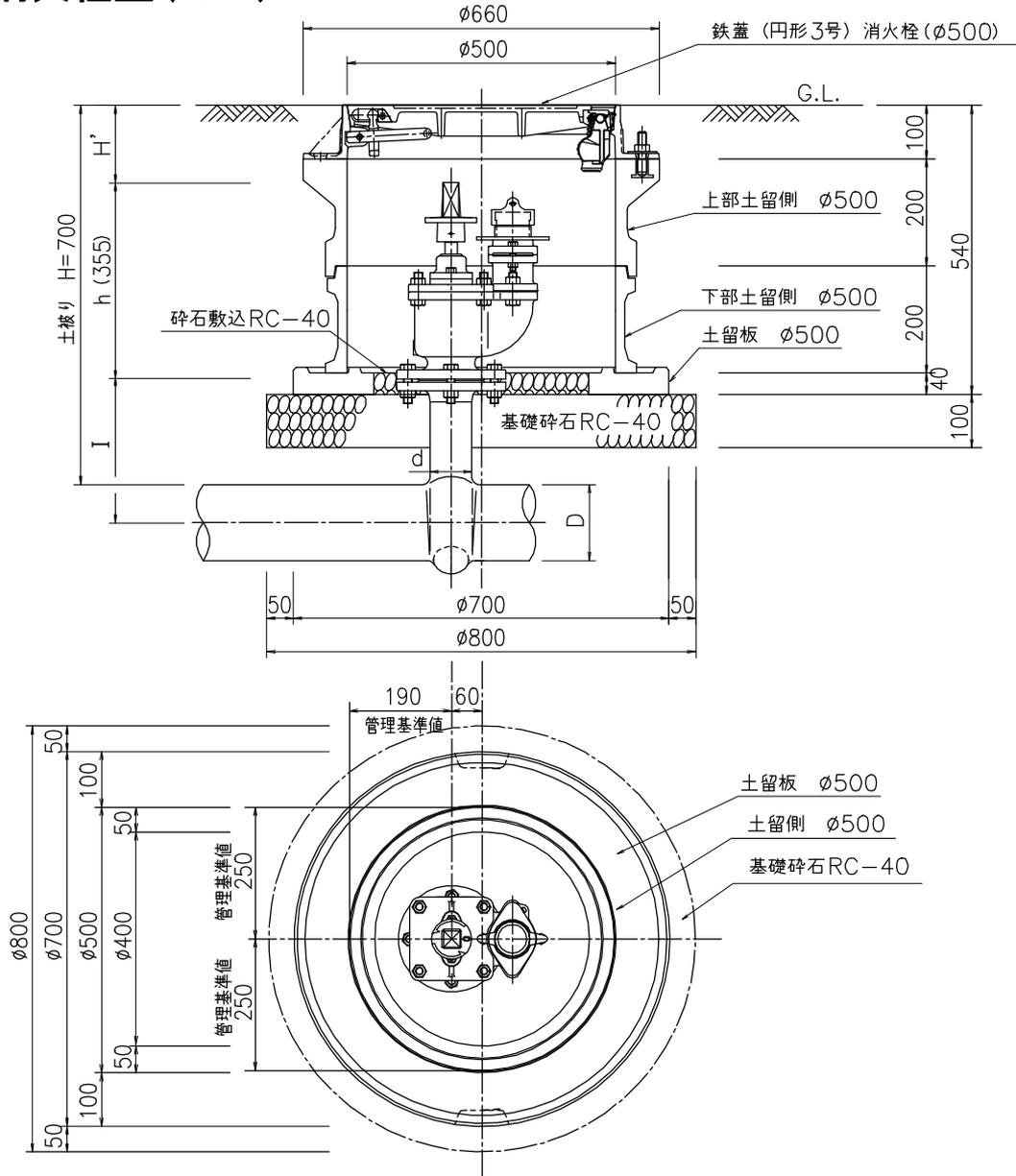
水道工事設計標準図

目 次

頁	工 種
1	単口消火栓室（75 mm）
2	補修弁付双口消火栓室（100 mm）300 mm～900 mm
3	補修弁付双口消火栓室（100 mm）800 mm～1,000 mm
4	空気弁付単口消火栓室（75 mm）
5	補修弁付空気弁付単口消火栓室（75 mm）300 mm～900 mm
6	補修弁付空気弁付単口消火栓室（75 mm）800 mm～1,000 mm
7	急速空気弁室（13 mm・20 mm・25 mm）
8	補修弁付急速空気弁室（25 mm）300 mm
9	補修弁付急速空気弁室（75 mm・100 mm）400 mm～1,000 mm
10	補修弁付急速空気弁室（75 mm・100 mm）800 mm～1,000 mm
11	ソフトシール仕切弁室（75 mm～400 mm）
12	ゴムシート形バタフライ弁室（500 mm～700 mm）
13-14	ゴムシート形バタフライ弁室（800 mm～1,000 mm）
15	水抜栓
16	電気マンホール
17	電気ハンドホール
18-20	アスファルト舗装復旧断面図
21	コンクリート舗装復旧断面図
22-23	境界杭、明示板

頁	工 種
24	標示板（立入禁止）
25	門標
26	消火栓土留側 （空気弁・水抜栓・電気ハンドホール）
27	消火栓土留板、土留調整リング （空気弁・水抜栓・電気ハンドホール）
28	消火栓土留調整リング （空気弁・水抜栓・電気ハンドホール）
29	仕切弁（上部・中部・下部）土留側、土留板
30	仕切弁上下部土留側、土留調整リング
31	コンクリート土留板 1,250×1,250×100（開孔 600×500） コンクリート円形床版 φ1,900×100（開孔 φ900）
32	コンクリート斜壁及び直壁（JIS A 5372）
33	鉄蓋使用基準

単口消火栓室 (75mm)



(重要) 単口消火栓の設置位置については、明示している管理基準値に基づくものとする。

(注) 上図については、G X形のうず巻式フランジ付T字管を使用した場合のものである。

記号 呼び径 D×d	各部寸法		支給材料					その他 (10か所当り)		
	フランジ付 T字管形式	I	H'	単口消火栓 φ75 (355H) (個)	鉄蓋 (円形3号) 消火栓 φ500 (個)	上部土留側 φ500 (200H) (個)	下部土留側 φ500 (200H) (個)	土留板 φ500 (40H) (枚)	基礎砕石 RC-40 (t=10cm) (m ²)	砕石敷込 RC-40 (m ²)
75×75	うず巻式	250	142	1	1	1	1	1	5.00	0.05
100×75	うず巻式	250	154	1	1	1	1	1	5.00	0.05
150×75	うず巻式	280	150	1	1	1	1	1	5.00	0.05
200×75	うず巻式	300	155	1	1	1	1	1	5.00	0.05

(注) 1. フランジ付T字管については、原則、G X形のうず巻式フランジ付T字管を使用する。

2. 消火栓鉄蓋の蝶番と消火栓口金は、同位置にならないよう設置すること。

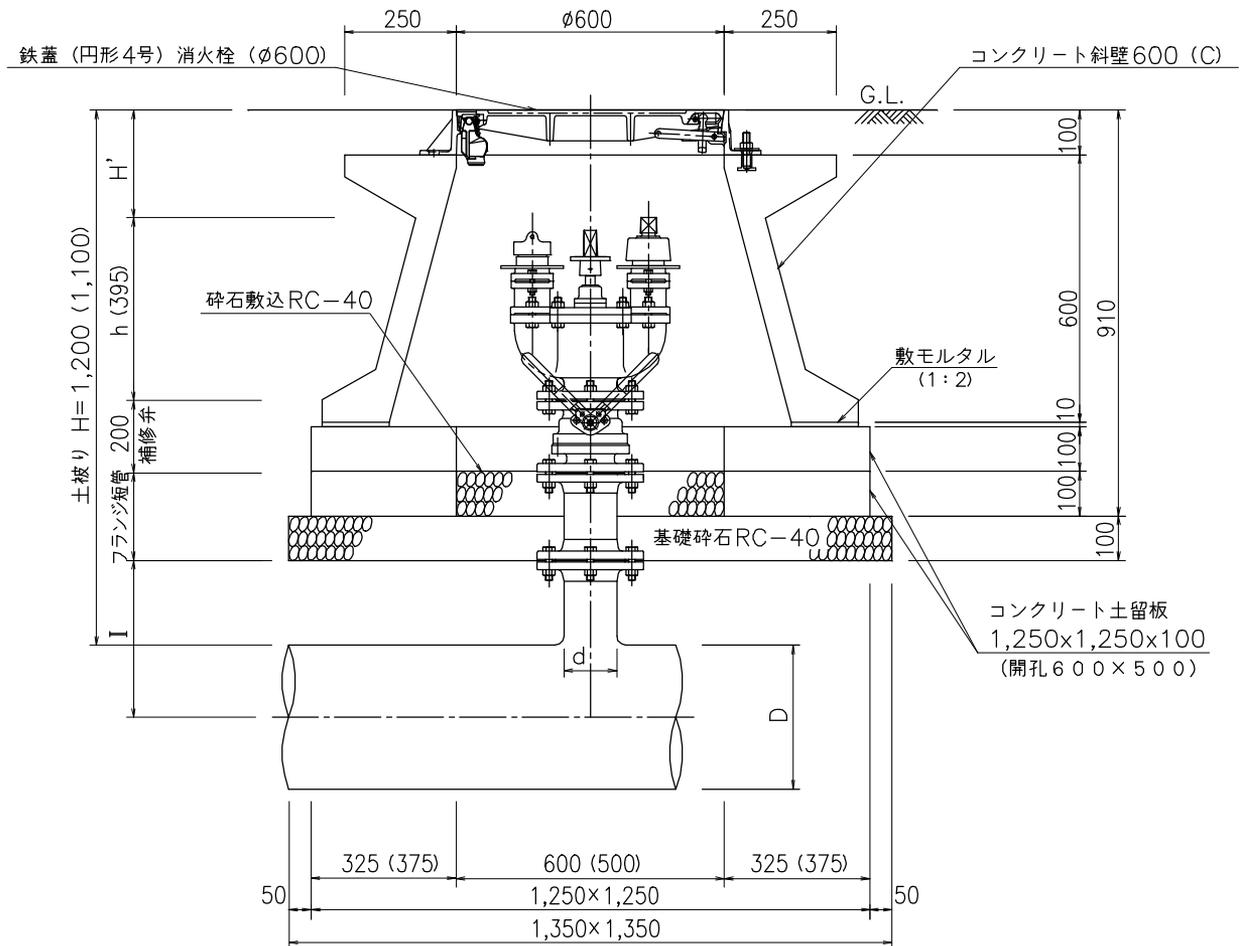
3. 標準 (土被り) 以外の場合は、フランジ付T字管の変更 (うず巻式以外) 又は、フランジ短管等を使用するなどし、H'寸法が150mm程度となるよう検討すること。なお、フランジ短管L=100を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。

4. 本図面の単口消火栓は、承認品最大h寸法により作図したものであり、メーカーごとにh寸法が異なることから、施工にあたっては上記3に準じ調整すること。

5. 単口消火栓h寸法について、JWWA規格では379mm以下としている。

6. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

補修弁付双口消火栓室(100mm) 300mm~900mm

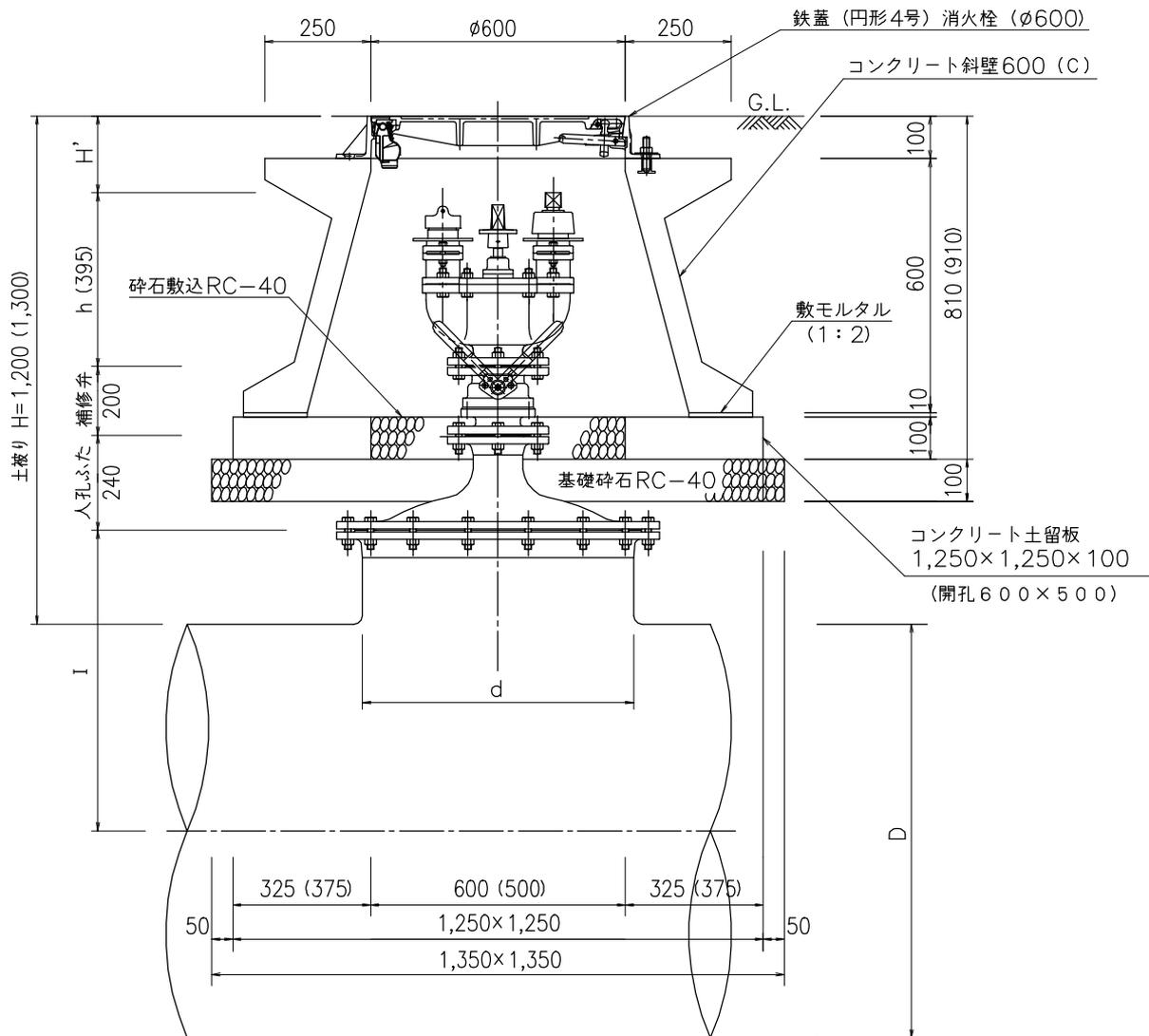


(注) 上図については、NS形のフランジ付T字管を使用した場合のものである。

記号 呼び径 D×d	各部寸法		支給材料						業者持材料			その他 (10か所当り)		
	I	H'	双口消火栓 φ100 (395H) (個)	補修弁 φ100 (200H) (個)	フランジ短管 (φ100)				鉄蓋 (円形4号) 消火栓 φ600 (個)	コンクリート斜壁 600 (C) (600H) (個)	土留板 □1,250 (100H) (枚)	基礎砕石 RC-40 (t=10cm) (m ²)	モルタル (1:2) (m ³)	砕石敷込 RC-40 (m ³)
					L=100 (個)	L=150 (個)	L=250 (個)	L=300 (個)						
300x100	300	216	1	1	-	1	-	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30
	(350)	216	1	1	1	-	-	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30
400x100	350	218	1	1	-	-	1	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30
500x100	400	219	1	1	-	-	1	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30
600x100	450	220	1	1	-	-	1	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30
700x100	480	242	1	1	-	-	1	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30
800x100	520	203	1	1	-	-	-	1	1	1	2	18.2	0.04	0.30
900x100	590	235	1	1	-	-	1	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30

- (注) 1. フランジ付T字管の分岐口径 (d) については、折損防止を図るため、必ずφ100とする。
2. フランジ付T字管のI寸法については、NS形による。
3. φ300の土被りは、1,100とする。
4. φ300の()は、NS形のうず巻式フランジ付T字管のI寸法である。
5. フランジ短管L=100を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。
6. 標準 (土被り) 以外の場合は、フランジ短管等を変更するなどし、H'寸法が200~250mm程度となるよう検討すること。なお、フランジ短管L=100を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。
7. 本図面は、JWWA規格の双口消火栓h寸法により作図したものであり、メーカーごとにh寸法が異なることから、施工にあたっては上記6に準じ調整すること。
8. 本図面の補修弁高さは、フランジ規格が7.5k仕様のものである。なお、フランジ規格が10k及び16k仕様のものについては補修弁高さが異なることから、別途検討すること。
9. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

補修弁付双口消火栓室(100mm) 800mm~1,000mm

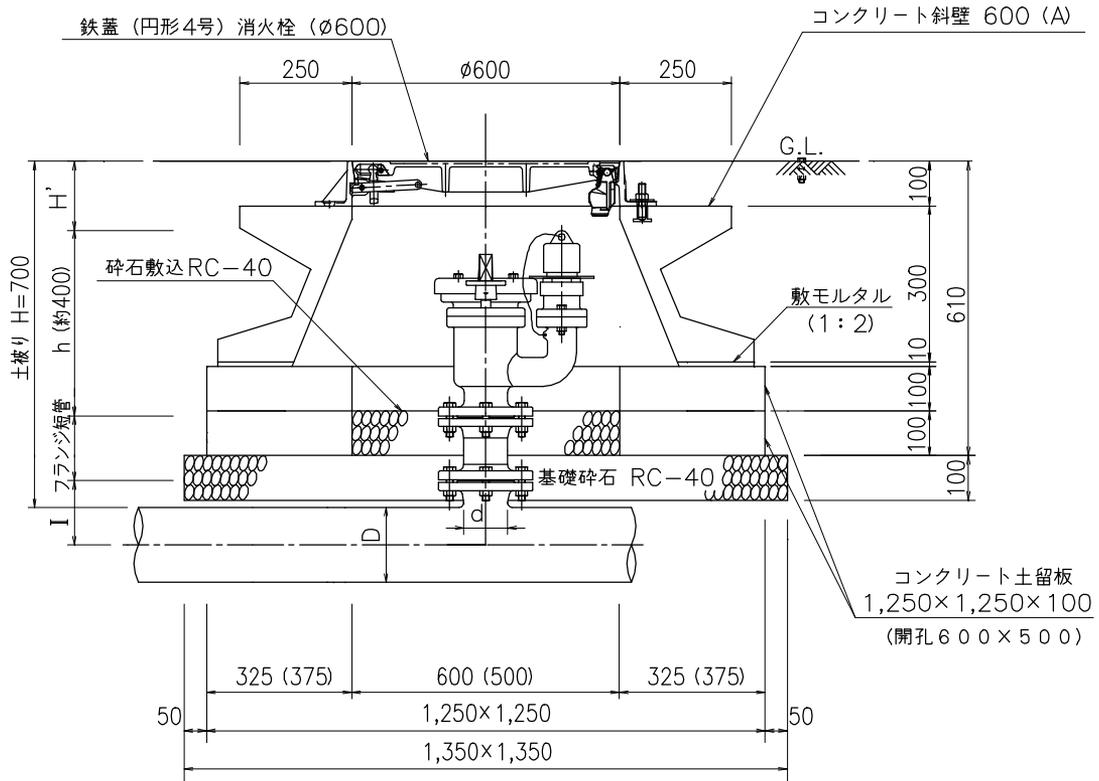


(注) 上図については、急速空気弁100mm、土留板を1枚使用した場合のものである。

記号 呼び径 D×d	各部寸法			支給材料			業者持材料			その他(10か所当り)			
	I	双口消火栓		H'	双口消火栓 φ100 (395H) (個)	補修弁 φ100 (200H) (個)	人孔ふた φ600×100 (240H) (個)	鉄蓋(円形4号) 消火栓 φ600 (個)	コンクリート斜壁 600(C) (600H) (個)	土留板 □1,250 (100H) (枚)	基礎碎石 RC-40 (t=10cm) (m ²)	モルタル (1:2) (m ³)	碎石敷込 RC-40 (m ³)
		呼び径	h										
800x600	670	100	395	113	1	1	1	1	1	1	18.2	0.04	0.30
900x600	690	100	395	145	1	1	1	1	1	1	18.2	0.04	0.30
1,000x600	770	100	395	216	1	1	1	1	1	2	18.2	0.04	0.30

- (注) 1. フランジ付T字管のI寸法については、NS形による。
 2. φ1,000の土被りは、1,300とする。
 3. φ1,100以上については別途考慮すること。
 4. 標準(土被り)以外の場合は、フランジ短管等を変更(追加)するなどし、H'寸法が200mm程度となるよう検討すること。なお、フランジ短管L=100を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。
 5. 本図面は、JWWA規格の双口消火栓h寸法により作図したものであり、メーカーごとにh寸法が異なることから、施工にあたっては上記4に準じ調整すること。
 6. 本図面の補修弁高さは、フランジ規格が7.5k仕様のものである。なお、フランジ規格が10k及び16k仕様のものについては補修弁高さが異なることから、別途検討すること。
 7. 人孔ふたのφ600に使用するフランジ用ボルトナットについては、M24×110とする。
 8. 本図面は、水圧テスト(内面)を実施するにあたり、機材の出し入れ及び維持管理のため管内への出入りを考慮したものである。
 9. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

空気弁付単口消火栓室 (75mm)

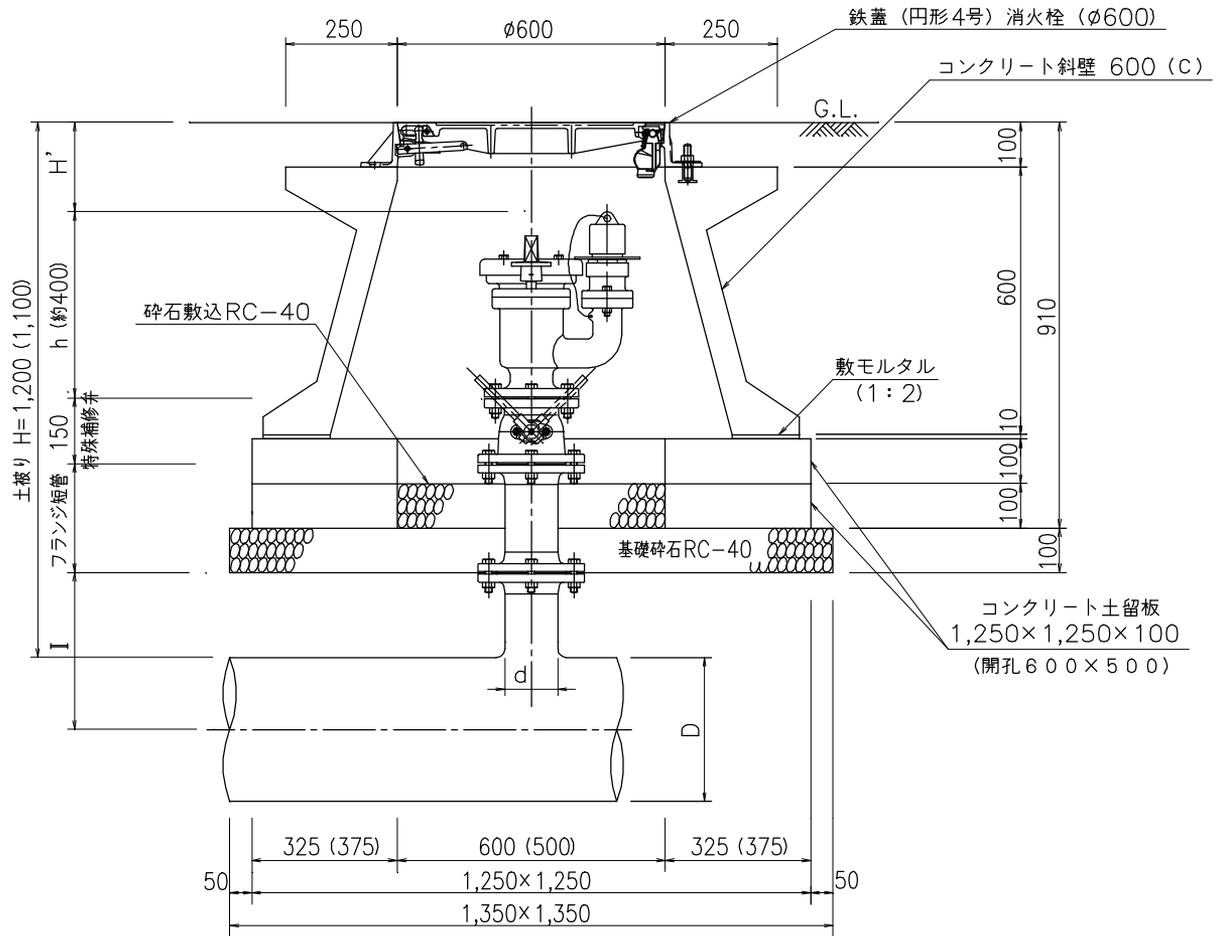


(注) 上図については、浅層埋設形フランジ付T字管を使用し、空気弁付単口消火栓は、通常型の平均高さ(約400H)を使用した場合のものである。

記号 呼び径 D×d	各部寸法		支給材料		業者持材料			その他 (10か所当り)			
	フランジ付 T字管形式	I	H'	空気弁付単口 消火栓φ75 (約400H) (個)	フランジ短管 φ75 (100H) (個)	鉄蓋 (円形4号) 消火栓 φ600 (個)	コンクリート斜壁 600 (A) (300H) (個)	土留板 □1,250 (100H) (枚)	基礎砕石 RC-40 (t=10cm) (m ²)	モルタル (1:2) (m ³)	砕石敷込 RC-40 (m ³)
75x75	GX	200	147	1	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30
	浅層埋設用	105	142	1	1	1	1	2	18.2	0.04	0.30
100x75	GX	200	159	1	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30
	浅層埋設用	120	139	1	1	1	1	2	18.2	0.04	0.30
150x75	GX	250	135	1	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30
200x75	GX	250	160	1	-	1	1	1	18.2	0.04	0.30

- (注) 1. 浅層埋設形フランジ付T字管のI寸法については、GX形による。
 2. フランジ短管L=100を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。
 3. 標準以外(土被り)の場合は、フランジ付T字管の変更又は、フランジ短管を変更するなどし、H'寸法が150~200mm程度となるよう検討すること。
 4. 本図面は標準的な空気弁付単口消火栓h寸法により作図したものであり、メーカーごとにh寸法が異なることから、施工にあたっては上記3に準じ調整すること。
 5. 空気弁付単口消火栓のh寸法について、承認品には、通常型と浅層埋設型があることから、施工にあたって注意すること。
 6. 本図面の単位はmmで、縮尺はフリーとする。

補修弁付空気弁付単口消火栓室 (75mm) 300mm~900mm

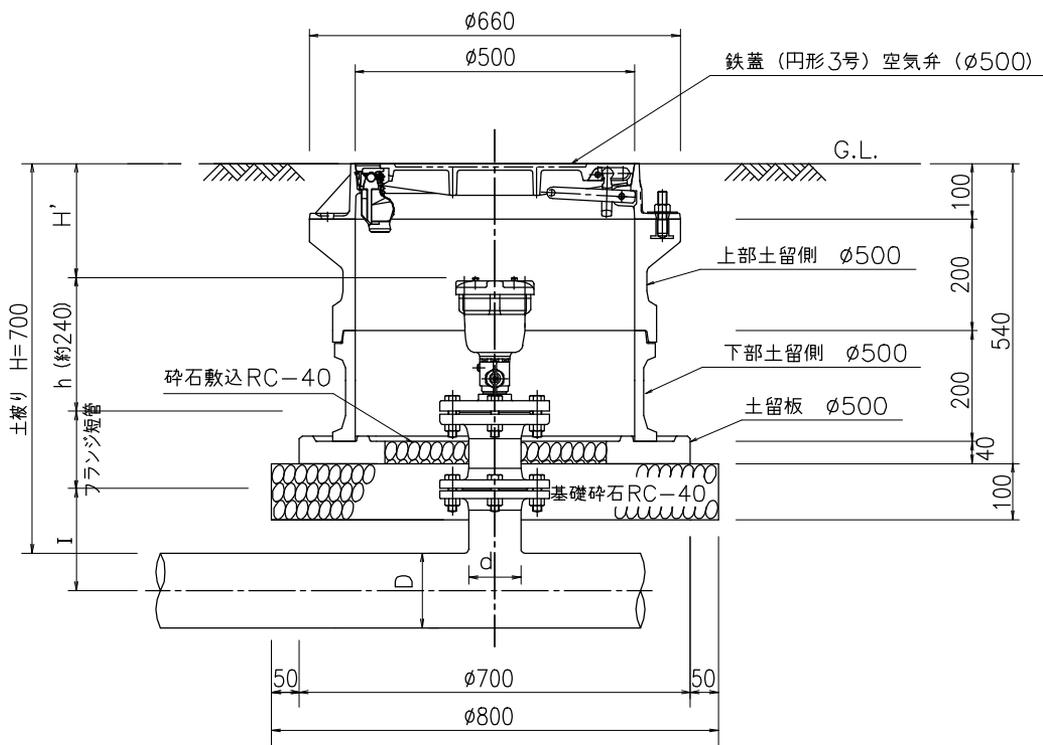


(注) 上図については、通常型 (平均高さ約400) の空気弁付単口消火栓を使用した場合のものである。

記号 呼び径 D×d	各部寸法		支給材料			業者持材料			その他 (10か所当り)				
	I	H'	空気弁付単口 消火栓φ75 (約400H) (個)	特殊補修弁 φ100×φ75 (150H) (個)	フランジ短管 (φ100)			鉄蓋 (円形4号) 消火栓 φ600 (個)	コンクリート斜壁 600 (C) (600H) (個)	土留板 □1,250 (100H) (枚)	基礎碎石 RC-40 (t=10cm) (m ²)	モルタル (1:2) (m ³)	砕石敷込 RC-40 (m ³)
300x100	300	211	1	1	-	1	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30
	(350)	211	1	1	1	-	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30
400x100	350	213	1	1	-	-	1	1	1	2	18.2	0.04	0.30
500x100	400	214	1	1	-	-	1	1	1	2	18.2	0.04	0.30
600x100	450	215	1	1	-	-	1	1	1	2	18.2	0.04	0.30
700x100	480	237	1	1	-	-	1	1	1	2	18.2	0.04	0.30
800x100	520	248	1	1	-	-	1	1	1	2	18.2	0.04	0.30
900x100	590	230	1	1	-	-	1	1	1	2	18.2	0.04	0.30

- (注) 1. フランジ付T字管の分岐口径 (d) については、折損防止を図るため、必ずφ100とする。
 2. フランジ付T字管のI寸法については、NS形による。
 3. φ300の土被りは、1,100とする。
 4. φ300の()は、NS形のうず巻式フランジ付T字管のI寸法である。
 5. 特殊補修弁100×75を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。
 6. 標準 (土被り) 以外の場合は、フランジ短管等を変更するなどし、H'寸法が200~250mm程度となるよう検討すること。なお、フランジ短管L=100を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。
 7. 本図面は標準的な空気弁付単口消火栓h寸法により作図したものであり、メーカーごとにh寸法が異なることから、施工にあたっては上記6に準じ調整すること。
 8. 本図面の補修弁高さは、フランジ規格が7.5k仕様のものである。なお、フランジ規格が10k及び16k仕様のものについては補修弁高さが異なることから、別途検討すること。
 9. 空気弁付単口消火栓のh寸法について、承認品には、通常型と浅層埋設型があることから、施工にあたって注意すること。
 10. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

急速空気弁室 (13mm・20mm・25mm)

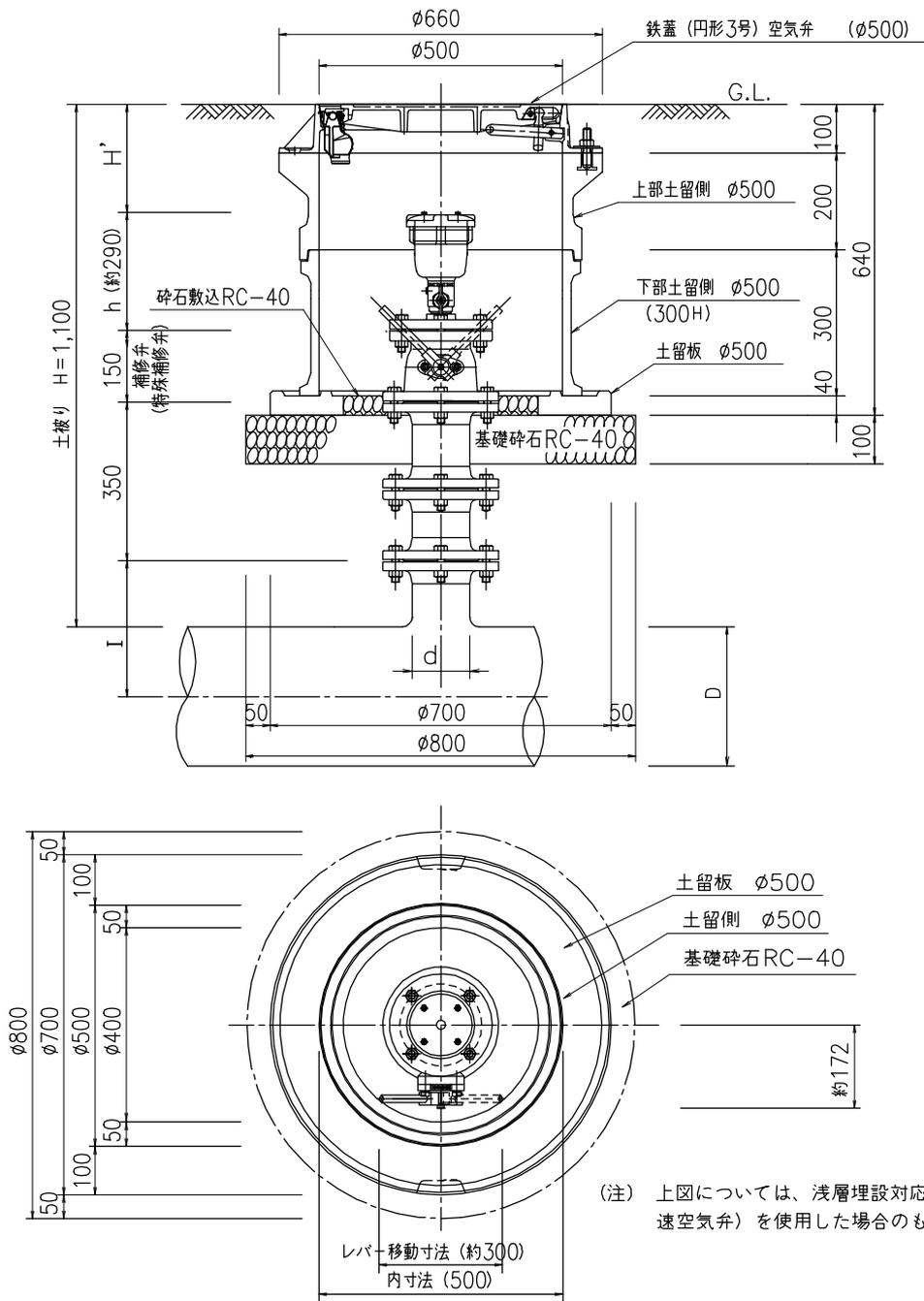


(注) 上図については、浅層埋設対応製品（急速空気弁）を使用した場合のものである。

記号 呼び径 D×d	急速空気弁 口径	各部寸法		支給材料						その他 (10か所当り)		
		フランジ付 T字管形式	I	H'	急速空気弁 (乙) (φ13~25) (個)	フランジ短管 (φ75) L=100 (個)	鉄蓋 (円形3号) 空気弁 φ500 (個)	上部土留側 φ500 (200H) (個)	下部土留側 φ500 (200H) (個)	土留板 φ500 (40H) (個)	基礎碎石 RC-40 (t=10cm) (m ²)	碎石敷込 RC-40 (m ³)
75×75	13・20	GX	200	207	1	1	1	1	1	1	5.00	0.05
100×75	13・20	GX	200	219	1	1	1	1	1	1	5.00	0.05
150×75	25	GX	250	145	1	1	1	1	1	1	5.00	0.05
200×75	25	GX	250	170	1	1	1	1	1	1	5.00	0.05

- (注) 1. 本表は、浅層埋設対応製品（急速空気弁）を使用した場合の数量である。
2. フランジ短管 L = 100 を使用する場合は、フランジ用ボルトナット M16 × 65 を使用すること。
3. 標準（土被り）以外の場合は、フランジ短管等を変更するなどし、H' 寸法が 150 ~ 210 mm 程度となるよう検討すること。
4. () は、急速空気弁 25 mm の寸法である。
5. 本図面は標準的な浅層埋設対応製品（急速空気弁）h 寸法により作図したものであり、メーカーごとに h 寸法が異なることから、施工にあたっては上記 3 に準じ調整すること。
6. 本図面の単位は mm、縮尺はフリーとする。

補修弁付急速空気弁室 (25mm) 300mm

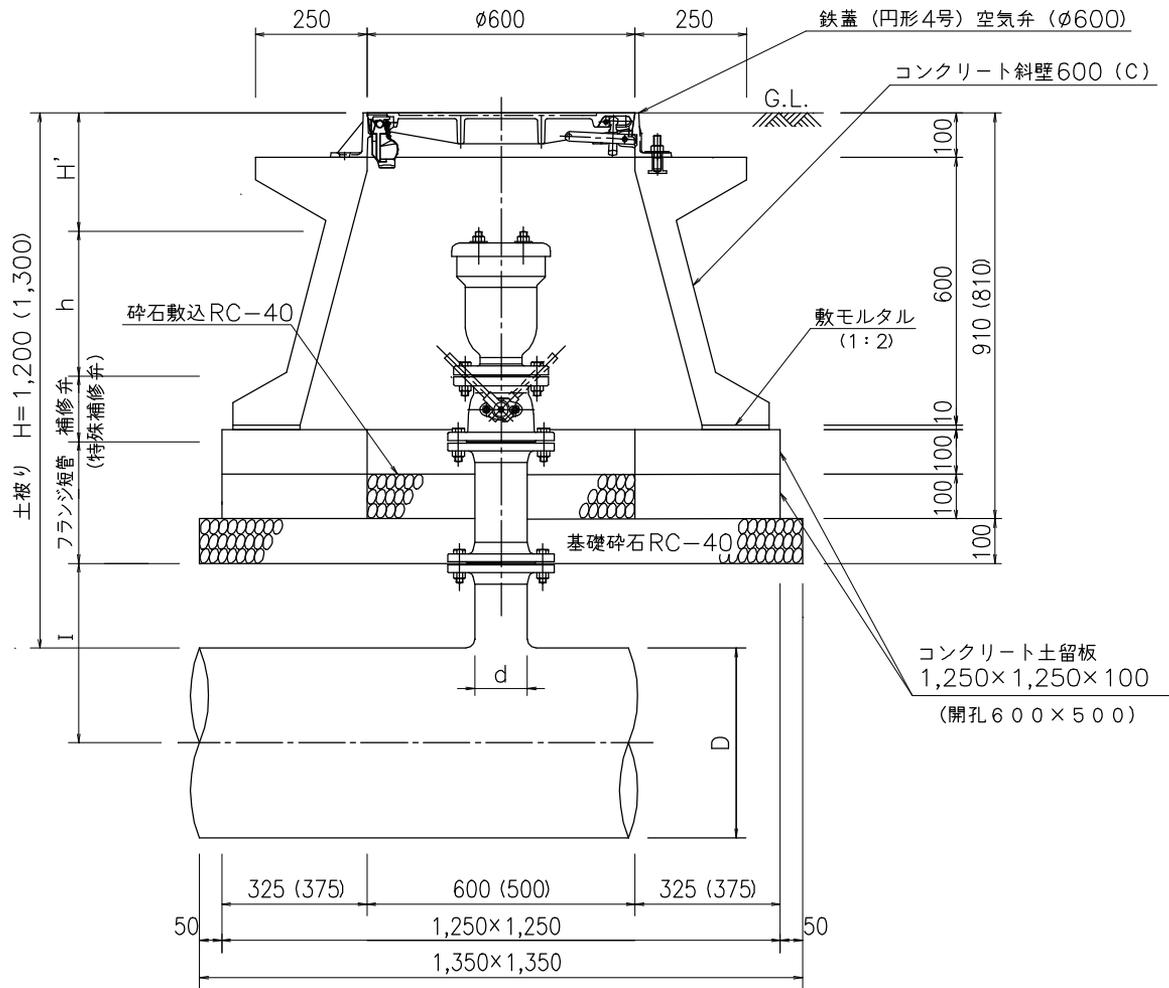


(注) 上図については、浅層埋設対応製品（急速空気弁）を使用した場合のものである。

記号 呼び径 D×d	各部寸法			支給材料								その他（10か所当り）	
	I	急速空気弁		H'	特殊補修弁 φ100×φ75 (150H) (個)	フランジ短管 (φ100)		鉄蓋（円形3号） 空気弁 φ500 (個)	上部土留側 φ500 (200H) (個)	下部土留側 φ500 (300H) (個)	土留板 φ500 (40H) (枚)	基礎碎石 RC-40 (t=10cm) (m ²)	碎石敷込 RC-40 (m ³)
		呼び径	h			L=150	L=200						
300×100	300	25	290	191	1	1	1	1	1	1	1	5.00	0.05

- (注) 1. フランジ付T字管の分岐口径（d）については、折損防止を図るため、必ずφ100とする。
 2. フランジ付T字管のI寸法については、NS形による。
 3. 特殊補修弁100×75を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。
 4. 標準（土被り）以外の場合は、フランジ短管を変更するなどし、H'寸法が200mm程度となるよう検討すること。
 なお、フランジ短管L=100を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。
 5. 本図面は急速空気弁（浅層埋設対応製品）h寸法により作図したものであり、メーカーごとにh寸法が異なることから、施工にあたっては上記4に準じ調整すること。
 6. 本図面の補修弁高さは、フランジ規格が7.5k仕様のものである。なお、フランジ規格が10k及び16k仕様のものについては補修弁高さが異なることから、別途考慮すること。
 7. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

補修弁付急速空気弁室 (75mm・100mm・150mm) 400mm～1,000mm

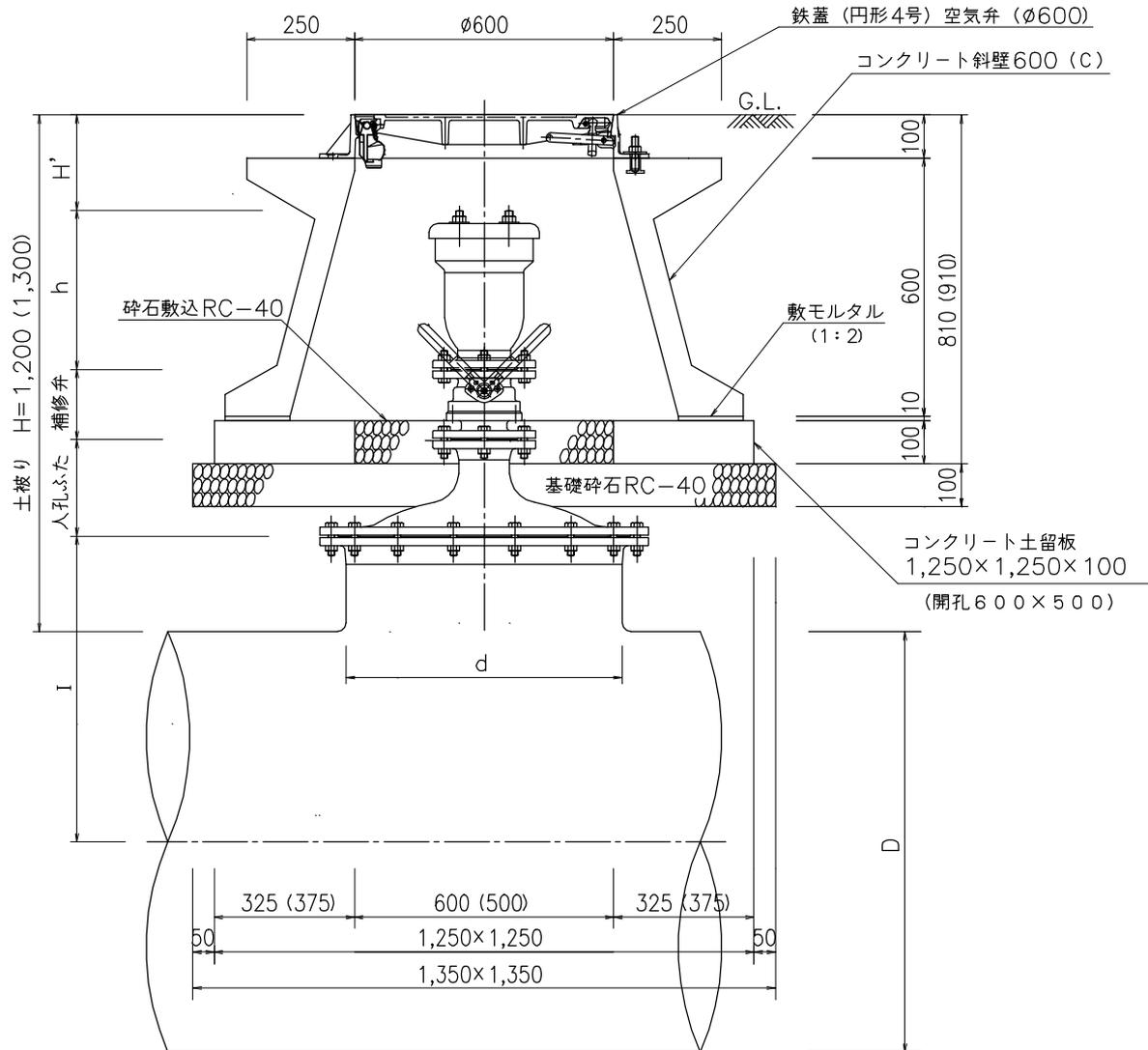


(注) 上図については、特殊補修弁と急速空気弁75mm (JWWA規格品) を使用した場合のものである。

記号 呼び径 D×d	各部寸法				支給材料						業者持材料			その他 (10か所当り)		
	I	急速空気弁		H ¹	特殊補修弁 ø100×ø75 (150H) (個)	補修弁		フランジ短管		鉄蓋 (円形4号) 空気弁 ø600 (個)	コンクリート斜壁 600 (C) (600H) (個)	土留板 □1,250 (100H) (枚)	基礎碎石 RC-40 (t=10cm) (m ²)	モルタル (1:2) (m ³)	碎石敷込 RC-40 (m ³)	
		呼び径	h			ø100 (200H) (個)	ø150 (200H) (個)	ø100 L=250 (個)	ø150 L=300 (個)							
400×100	350	75	390	223	1	-	-	-	1	-	1	2	18.2	0.04	0.30	
500×100	400	75	390	224	1	-	-	-	1	-	1	2	18.2	0.04	0.30	
600×100	450	75	390	225	1	-	-	-	1	-	1	2	18.2	0.04	0.30	
700×100	480	100	410	227	-	1	-	1	-	-	1	2	18.2	0.04	0.30	
800×100	520	100	410	238	-	1	-	1	-	-	1	2	18.2	0.04	0.30	
900×100	590	100	410	220	-	1	-	1	-	-	1	2	18.2	0.04	0.30	
1,000×150	640	150	500	231	-	-	1	-	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30	

- (注) 1. フランジ付T字管の分岐口径 (d) については、折損防止を図るため、必ずø100以上とする。
 2. フランジ付T字管のI寸法については、NS形による。
 3. ø1,000の土被りは、1,300とする。
 4. ø1,100以上については、別途考慮すること。
 5. 特殊補修弁を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。
 6. 標準 (土被り) 以外の場合は、フランジ短管等を変更するなどし、H²寸法が200～250mm程度となるよう検討すること。
 なお、フランジ短管L=100を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。
 7. 本図面はJWWA規格の急速空気弁h寸法により作図したものであり、メーカーごとにh寸法が異なることから、施工にあたっては上記6に準じ調整すること。
 8. 本図面の補修弁高さは、フランジ規格が7.5k仕様のものである。なお、フランジ規格が10k及び16k仕様のものについては補修弁高さが異なることから、別途検討すること。
 9. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

補修弁付急速空気弁室 (100・150mm) 800mm~1,000mm

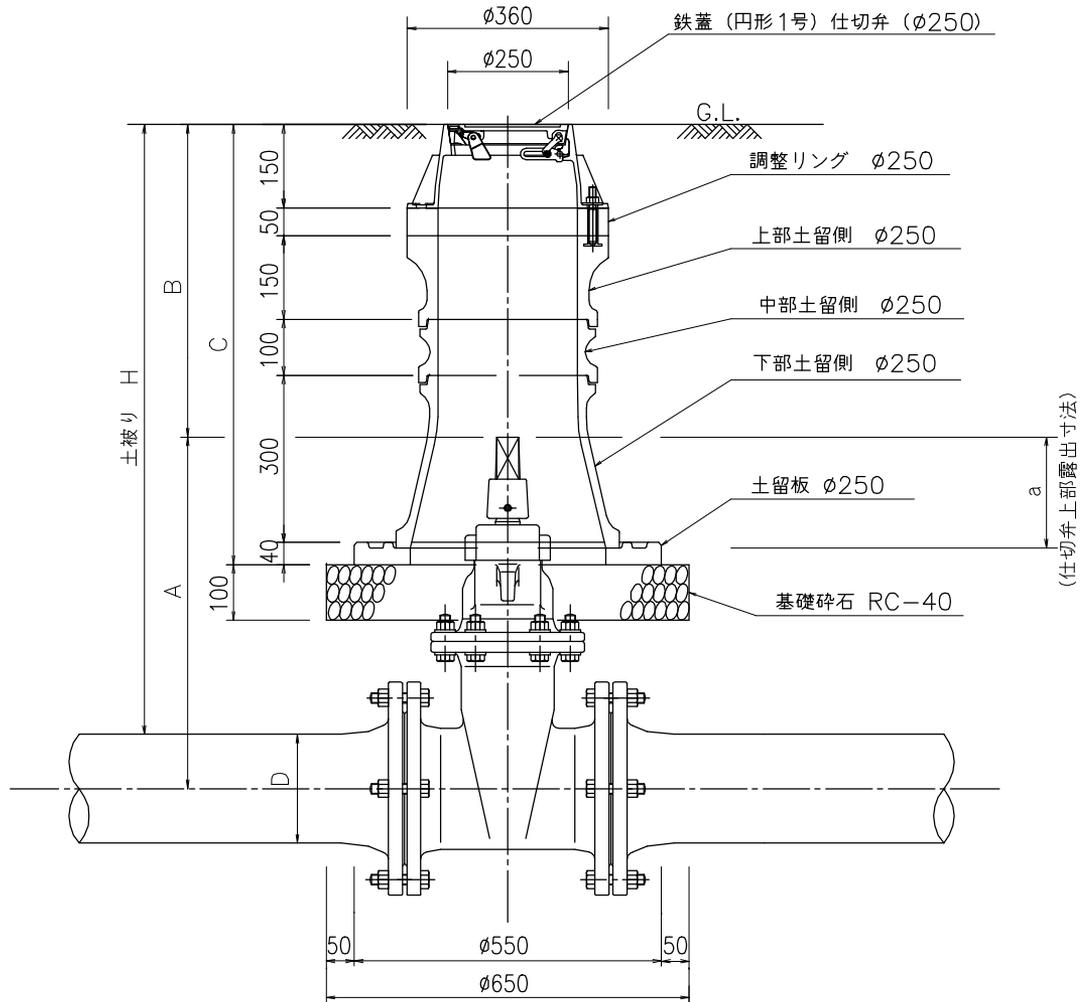


(注) 上図については、急速空気弁100mm、土留板を1枚使用した場合のものである。

記号 呼び径 D×d	各部寸法			支給材料						業者持材料			その他(10か所当り)			
	I	急速空気弁		H'	急速空気弁		補修弁(200H)		人孔ふた(240H)		鉄蓋(円形4号) 空気弁 φ600 (個)	コンクリート斜壁 600(C) 空気弁 (600H) (個)	土留板 □1,250 (100H) (枚)	基礎碎石 RC-40 (t=10cm) (m ²)	モルタル (1:2) (m ³)	碎石敷込 RC-40 (m ³)
		呼び径	h		φ100 (個)	φ150 (個)	φ100 (個)	φ150 (個)	φ600×φ100 (個)	φ600×φ150 (個)						
800×600	520	100	368	140	1	-	1	-	1	-	1	1	1	18.2	0.04	0.30
900×600	590	100	368	172	1	-	1	-	1	-	1	1	1	18.2	0.04	0.30
1,000×600	770	150	465	146	-	1	-	1	-	1	1	2	18.2	0.04	0.30	

- (注) 1. フランジ付T字管のI寸法については、NS形による。
 2. φ1,000の土被りは、1,300とする。
 3. φ1,100以上については、別途考慮すること。
 4. 標準(土被り)以外の場合は、フランジ短管等を変更(追加)するなどし、H'寸法が200mm程度となるよう検討すること。なお、フランジ短管L=100を使用する場合は、フランジ用ボルトナットM16×65を使用すること。
 5. 本図面の急速空気弁寸法は、承認品最大h寸法により作図したものであり、メーカーごとにh寸法が異なることから、施工にあたっては上記4に準じ調整すること。
 6. 本図面の補修弁高さは、フランジ規格が7.5k仕様のものである。なお、フランジ規格が10k及び16k仕様のものについては補修弁高さが異なることから、別途検討すること。
 7. φ1,000に使用する補修弁φ150の高さは、メーカーごとに異なることから、施工にあたっては上記4に準じ調整すること。
 8. 人孔ふたのφ600に使用するフランジ用ボルトナットについては、M24×110とする。
 9. 本図面は、水圧テスト(内面)を実施するにあたり、機材の出し入れ及び維持管理のため管内への出入りを考慮したものである。
 10. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

ソフトシール仕切弁室 (75mm~400mm)

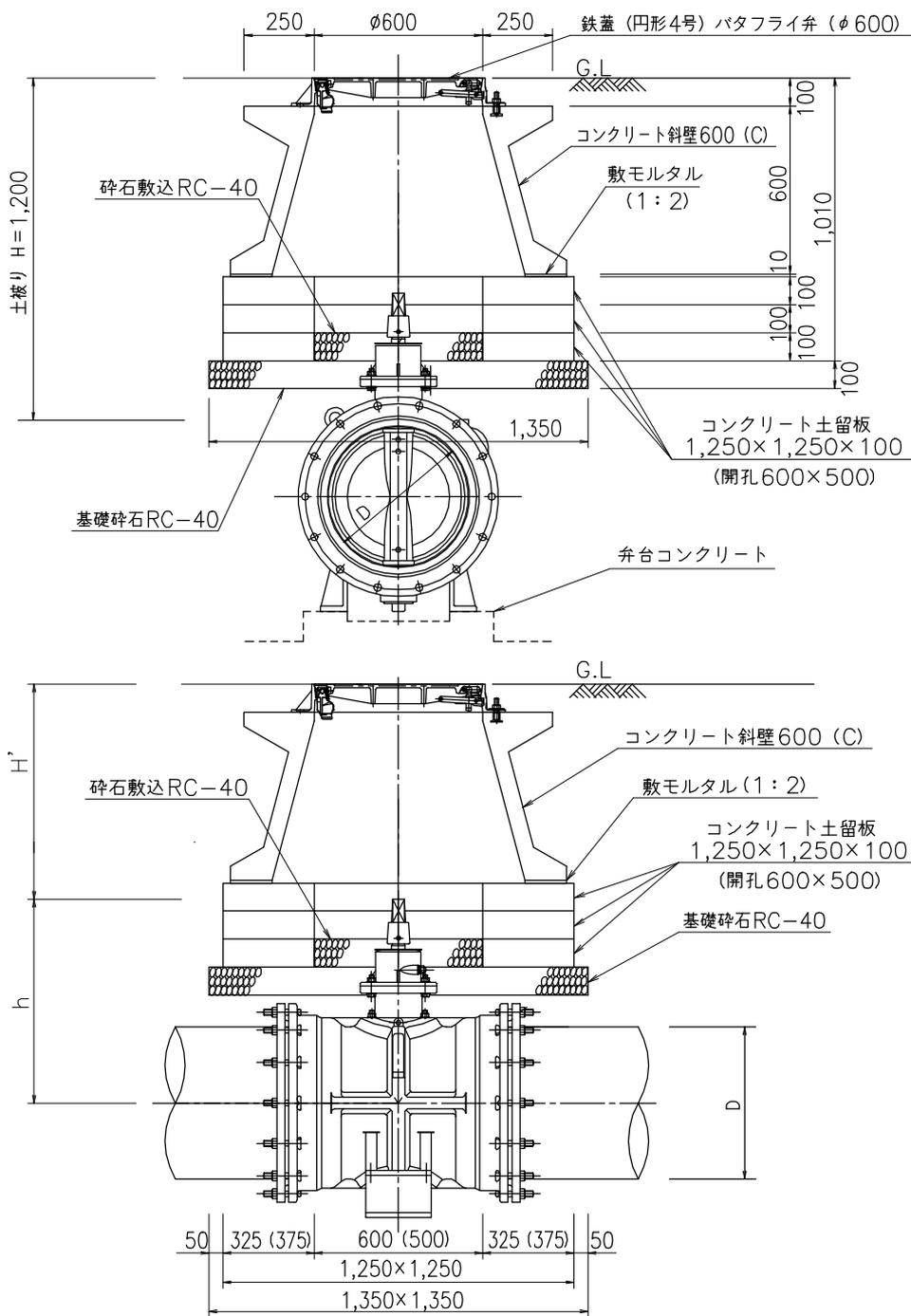


(注) 上図については、各材料の使用状況を示した図である。

記号 呼び径D	各部寸法						支給材料							10か所当たり 基礎碎石 RC-40 (t=10cm) (m ²)
	継手形式	H (土被り)	A	B	C	仕切弁上部 露出寸法 a	鉄蓋 (円形1号) 仕切弁 (ø250) (個)	仕切弁 調整リング ø250 (50H) (個)	仕切弁 上部土留側 ø250 (150H) (個)	仕切弁 下部土留側 ø250 (300H) (個)	仕切弁 上下土留側 ø250 (300H) (個)	仕切弁 土留板 ø250 (40H) (枚)	仕切弁 継足金物 L=300 (本)	
75	フランジ・GX	700	330	417	540	123	1	1	-	-	1	1	-	3.30
100	フランジ・GX	700	365	394	540	146	1	1	-	-	1	1	-	3.30
150	フランジ・GX	700	455	330	540	210	1	1	-	-	1	1	-	3.30
200	フランジ・GX	700	540	270	490	270	1	-	-	-	1	1	-	3.30
300	フランジ・NS	1,100	740	521	740	169	1	1	1	1	-	1	1	3.30
400	NS	1,200	1045	368	540	172	1	1	-	-	1	1	-	3.30

- (注) 1. 弁台コンクリート及び管防護コンクリートは必要に応じて別途算出すること。
 2. 標準 (土被り) 以外の場合は、中部土留側・調整リング等を含め、土留組み合わせを変更するなどし、aの弁室内仕切弁上部露出高さ (150mm程度) を確保するよう検討すること。
 3. B寸法が500mm以上となる場合は、継足金物の使用を検討すること。
 4. 本図面は標準的な弁寸法によるものであり、メーカーごとに寸法が異なることから、施工にあたっては上記2・3に準じ調整すること。
 5. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

ゴムシート形バタフライ弁室 (500mm~700mm)

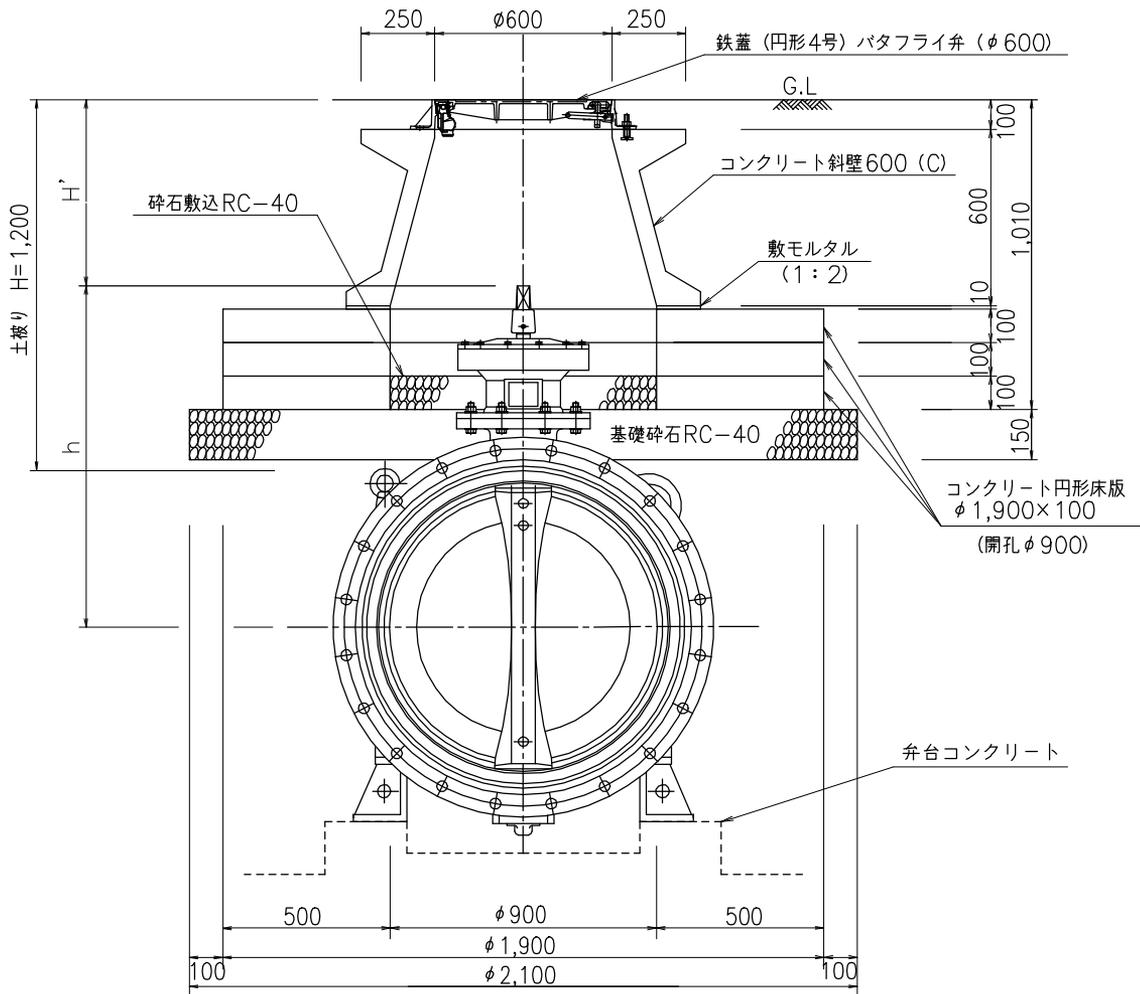


記号 呼び径D	各部寸法		支給材料		業者持材料			その他 (10か所当り)		
	h	H'	バタフライ弁 (NS耐震) (個)	仕切弁 継足金物 L=300 (本)	鉄蓋 (円形4号) バタフライ弁 φ600 (個)	コンクリート斜壁 600 (C) (600H) (個)	土留板 □1,250 (100H) (枚)	基礎碎石 RC-40 (t=10cm) (m ²)	モルタル (1:2) (m ³)	碎石敷込 RC-40 (m ³)
500	650	814	1	1	1	1	3	18.2	0.04	0.30
600	790	725	1	1	1	1	3	18.2	0.04	0.30
700	849	718	1	1	1	1	3	18.2	0.04	0.30

- (注) 1. 弁台コンクリート及び水圧に対する管防護コンクリートは必要に応じて別途算出すること。
 2. 標準 (土被り) 以外の場合は、土留板の追加又は斜壁の変更等を検討すること。
 3. 本図面は標準的なバタフライ弁 h 寸法により作図したものであり、メーカーごとに h 寸法が異なることから、施工にあたっては上記 2 に準じ調整すること。
 4. 本図面の単位は mm、縮尺はフリーとする。

ゴムシート形バタフライ弁室 (800mm~1,000mm) 1

800mm~900mm



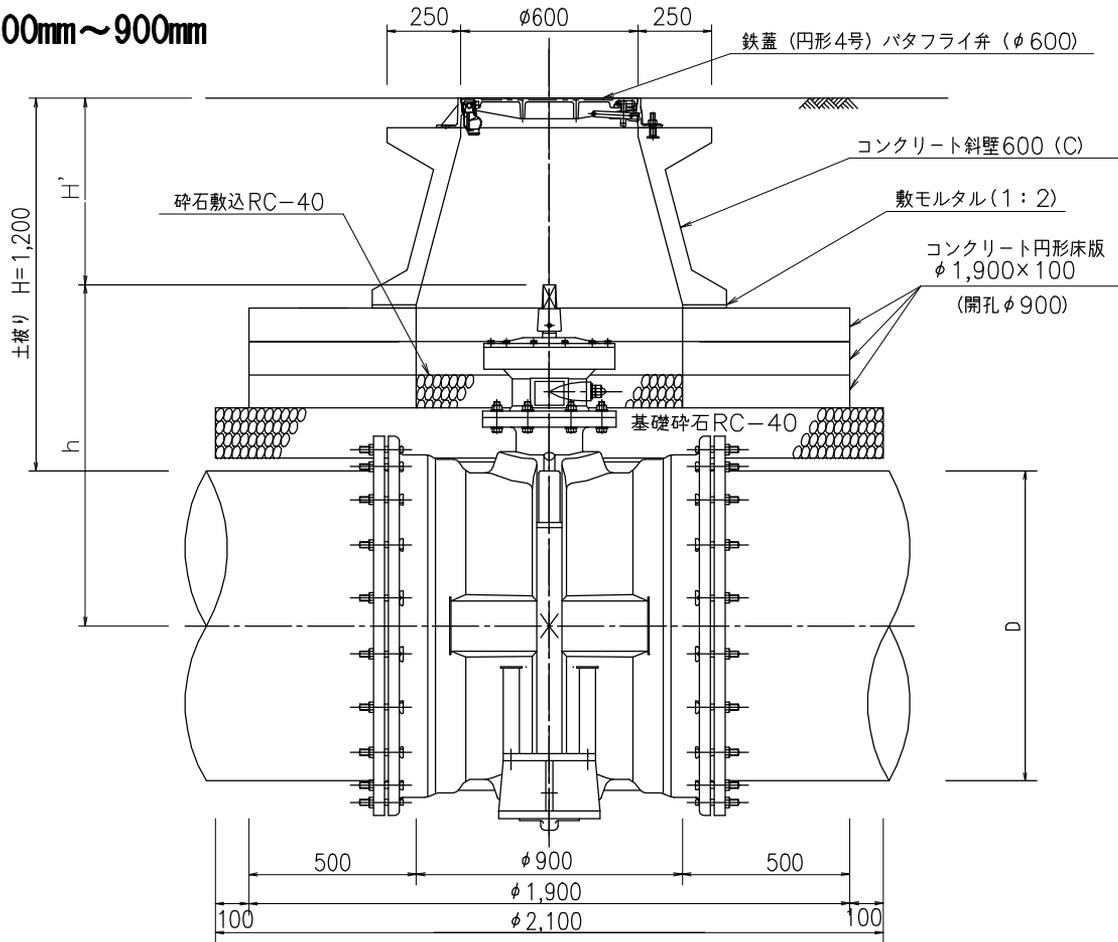
(注) 上図は、900mmバタフライ弁で、土留板3枚を使用した場合のものである。

記号 呼び径D	各部寸法		支給材料		業者持材料				その他 (10か所当り)		
	h	H'	バタフライ弁 (NS耐震) (個)	仕切弁 継足金物 L=300 (本)	鉄蓋 (円形4号) バタフライ弁 φ600 (個)	コンクリート斜壁 600 (C) (600H) (個)	コンクリート直壁 900 (A) (300H) (個)	コンクリート円形床版 φ1,900×100 (100H) (枚)	基礎碎石 RC-40 (t=15cm) (m ²)	モルタル (1:2) (m ³)	碎石敷込 RC-40 (m ³)
800	949	669	1	1	1	1	-	3	34.6	0.04	0.60
900	1,018	652	1	1	1	1	-	3	34.6	0.04	0.60
1,000	1,173	648	1	1	1	1	1	1	34.6	0.09	0.60

- (注) 1. 弁台コンクリート及び水圧に対する管防護コンクリートは必要に応じて別途算出すること。
 2. φ1,000の土被りは、1,300とする。
 3. φ1,100以上については、別途考慮すること。
 4. 標準 (土被り) 以外の場合は、土留板の追加又は斜壁の変更等を検討すること。
 5. 本図面は標準的なバタフライ弁h寸法により作図したものであり、メーカーごとにh寸法が異なることから、施工にあたっては上記4に準じ調整すること。
 6. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

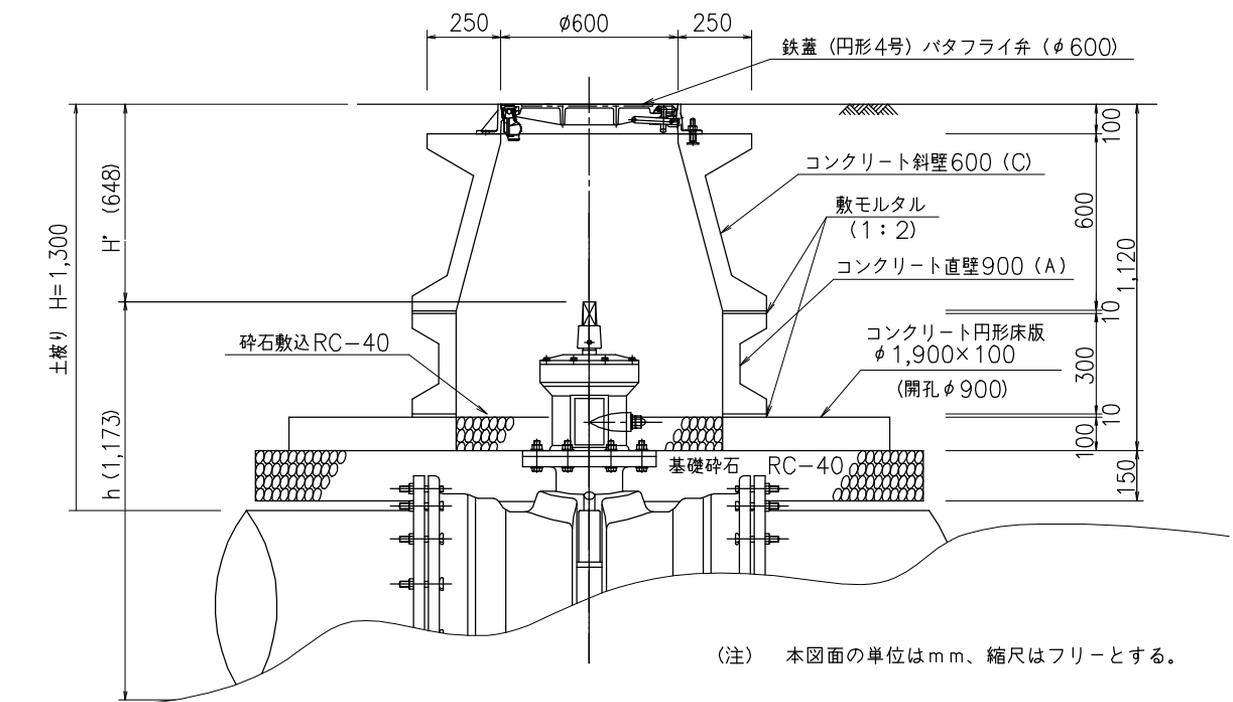
ゴムシート形バタフライ弁室 (800mm~1,000mm) 2

800mm~900mm



(注) 上図は、900mmバタフライ弁で、土留板3枚を使用した場合のものである。

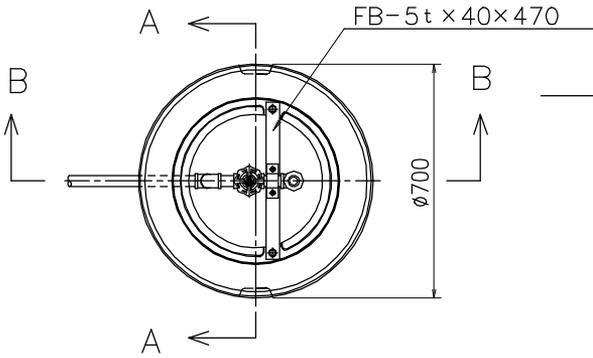
1,000mm



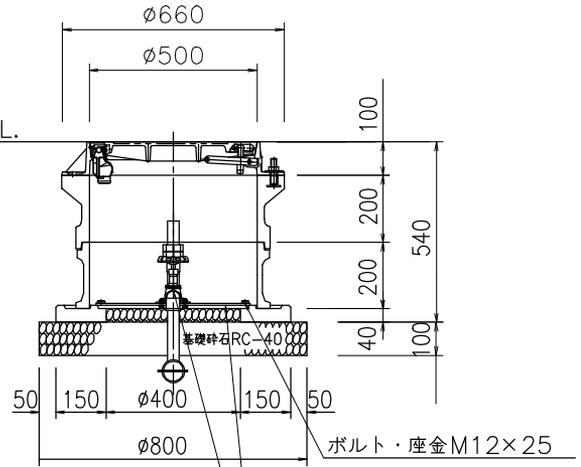
(注) 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

水抜栓

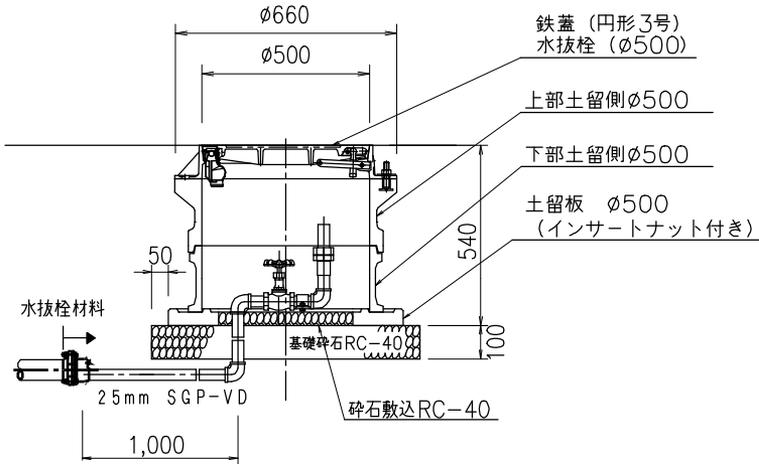
平面図



A - A 断面図



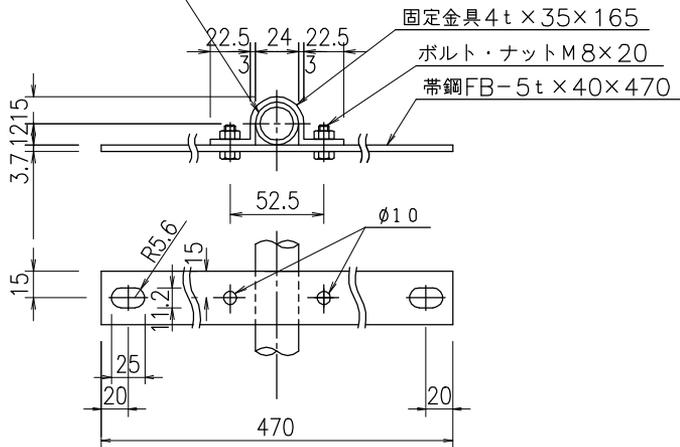
B - B 断面図



支給材料		
名称	形状・寸法	数量
鉄蓋 (円形3号)	水抜栓 (φ500)	1 個
上部土留側	φ500×200	1 個
下部土留側	φ500×200	1 個
土留板 (インサートナット付き)	φ500×40	1 個

振止金具 (SUS304)

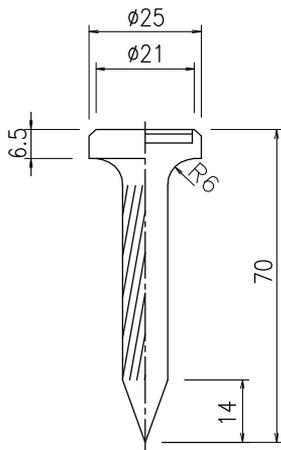
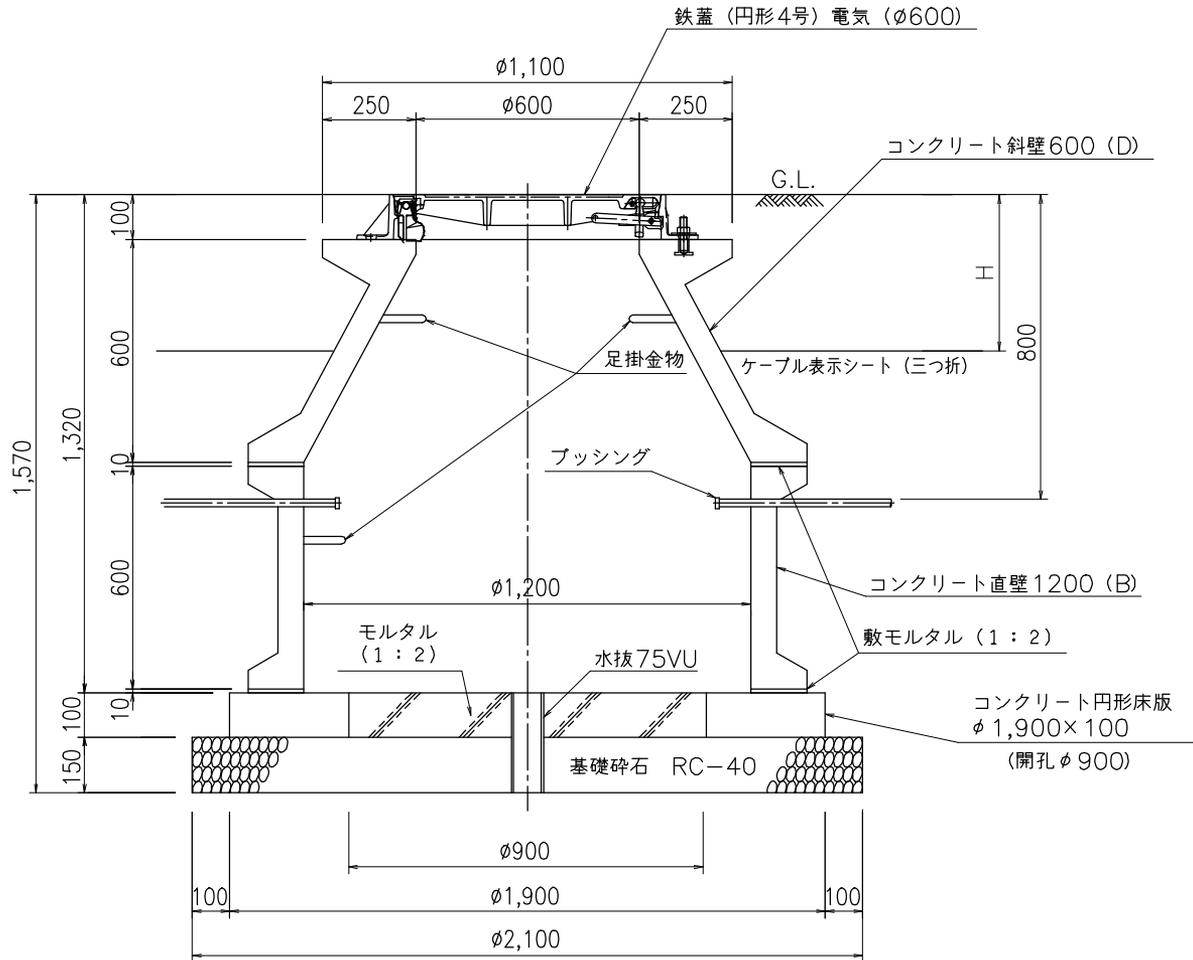
管を固定しないで
スライドが出来るようにする



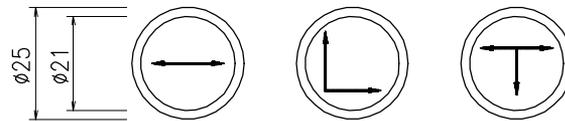
業者持材料等		
名称	形状・寸法	数量
基礎碎石 (t=10cm)	RC-40	0.50m ²
碎石敷込	RC-40	0.005m ³
ねじ込み仕切弁	IMP a	1 個
SGP-VD	25	m
エルボ S.P.	25 管端コア付	3 個
ソケット S.P.	25 管端コア付	2 個
メカニカルキャップ	50 PTC	1 個
シモク付ユニオン	Hi25	1 個
キャップ	Hi25	1 個
振止金具		1 組
帯鋼	SUS304 5x40x470	1 本
固定金具	SUS304 4x35x165	1 個
ボルト・ナット	SUS304 M8x20	4 本
ボルト・座金	SUS304 M12x25	2 本

(注) 本図面の単位はmm、縮尺はフリーと
とする。

電気マンホール



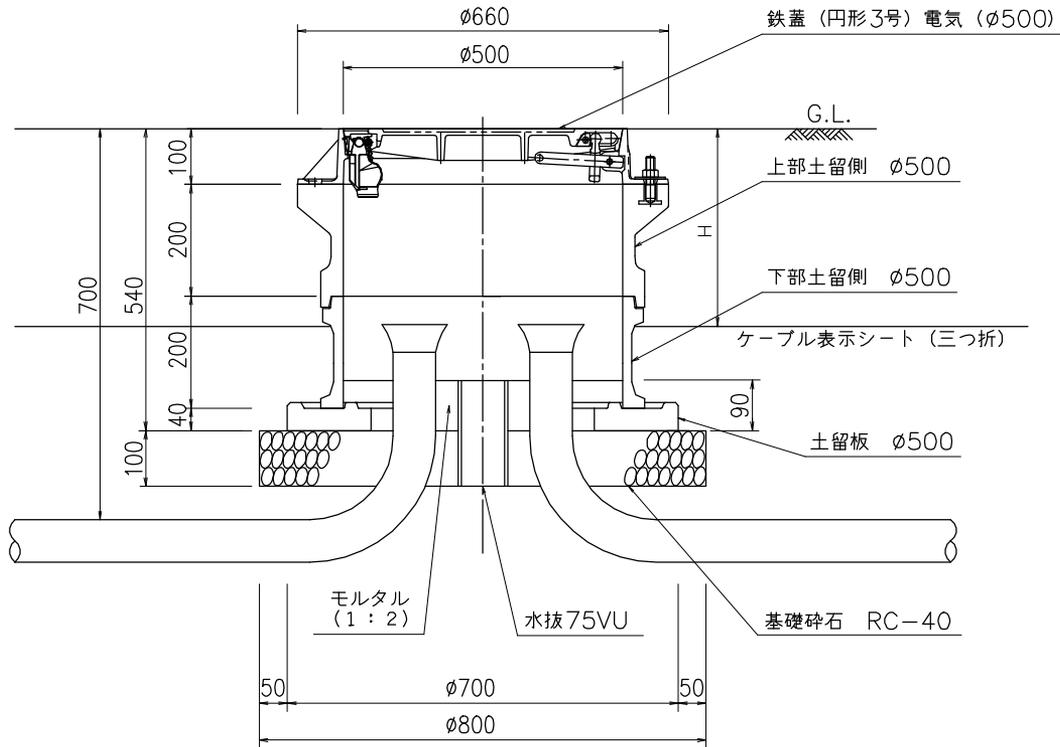
表示ピン



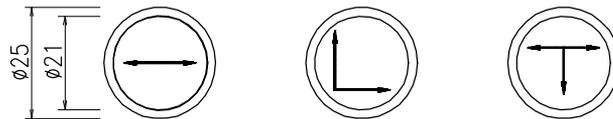
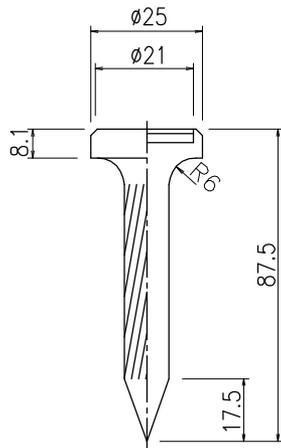
名称	業者持材料等					その他 (10か所あたり)		
	鉄蓋 円形4号 電気	コンクリート 斜壁	コンクリート 直壁	コンクリート 円形床版 φ1,900×100	足掛金物	基礎碎石 RC-40	モルタル	水 抜
形状・寸法	φ600	600 (D)	1,200 (B)	開孔 φ900	φ22	t=15cm	(1:2)	75VU
数量	1 個	1 個	1 個	1 個	3本	34.6m ²	0.70m ³	2.50m

- (注) 1. H寸法は埋設深度の1/2とする。
 2. 表示ピンの設置か所については別途指示によること。
 3. 表示ピンの頭部には、図示の矢印 (赤色) を表示する。
 4. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

電気ハンドホール



表示ピン

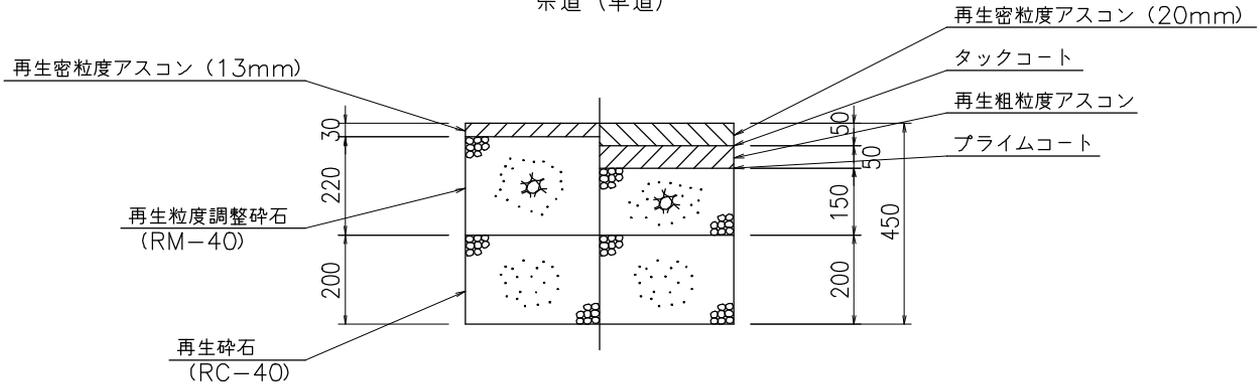


名称	業者持材料				その他 (10か所あたり)		
	鉄蓋 円形3号 電気	上部土留側 φ500	下部土留側 φ500	土留板 φ500	基礎碎石 RC-40	モルタル	水 抜
形状・寸法	φ500	200H	200H	40H	t=10cm	(1:2)	75VU
数 量	1 個	1 個	1 個	1 個	5.0m ²	0.10m ³	1.90m

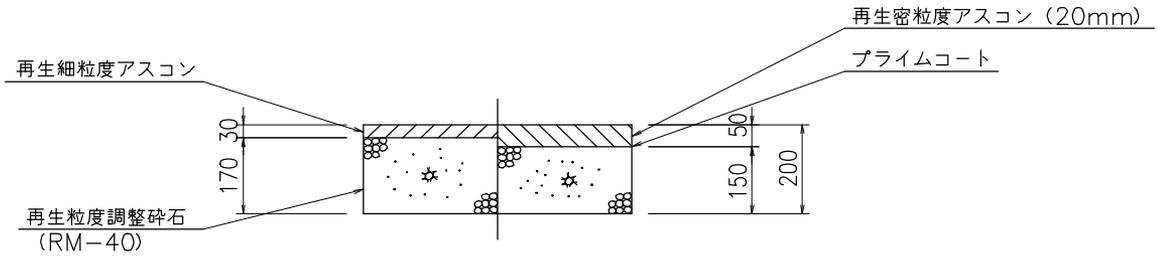
- (注) 1. H寸法は埋設深度の1/2とする。
 2. 表示ピンの設置か所については別途指示によること。
 3. 表示ピンの頭部には、図示の矢印 (赤色) を表示する。
 4. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

アスファルト舗装復旧断面図 (左:仮舗装復旧 右:本舗装復旧)

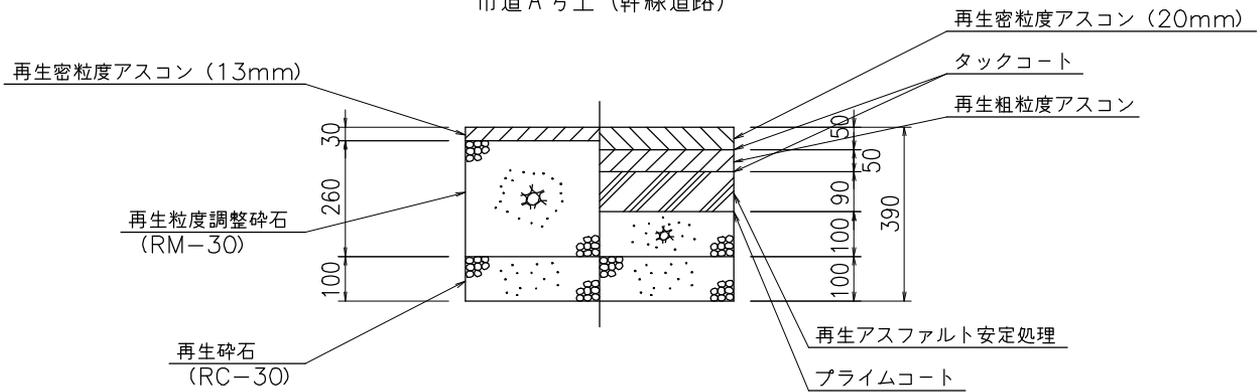
県道 (車道)



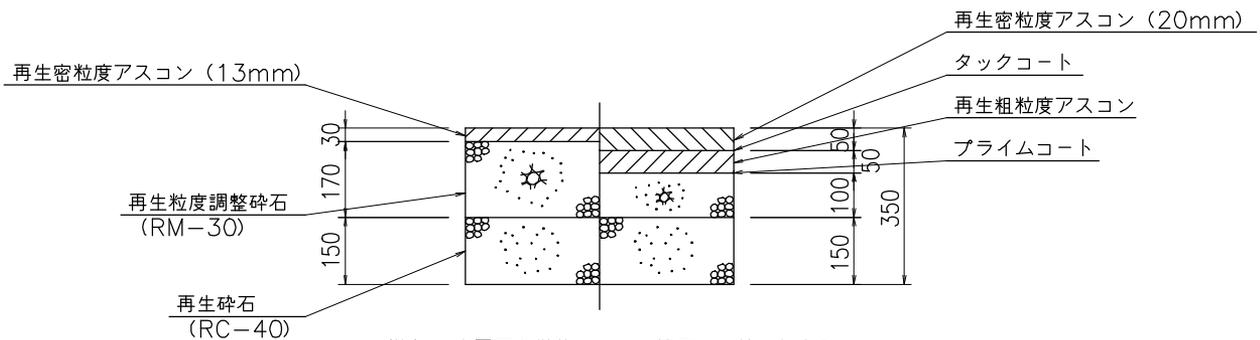
県道 (歩道)



市道A号工 (幹線道路)

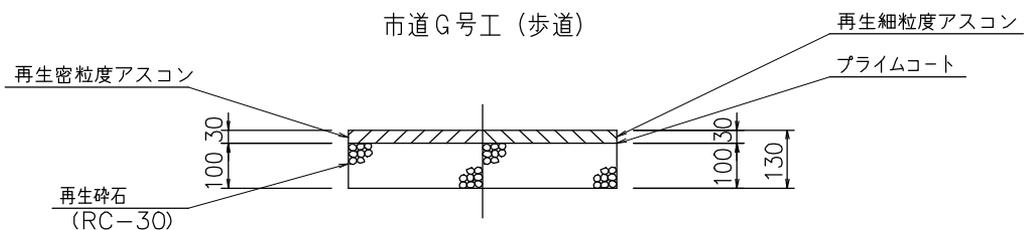
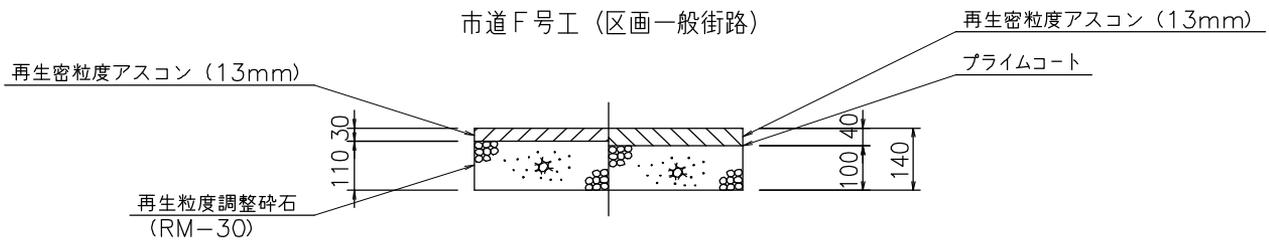
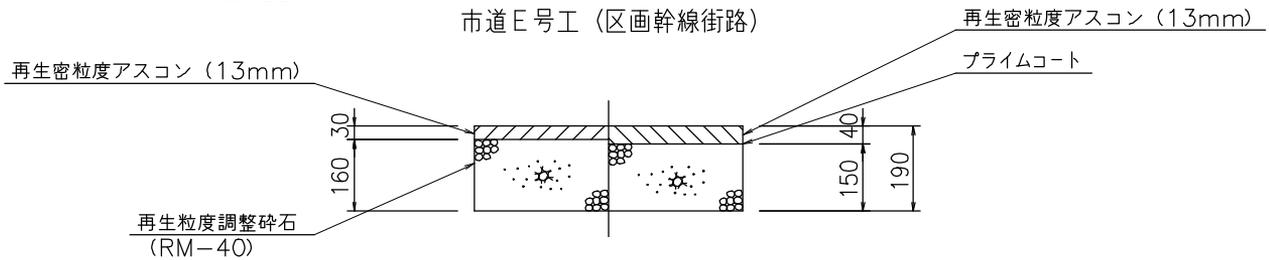
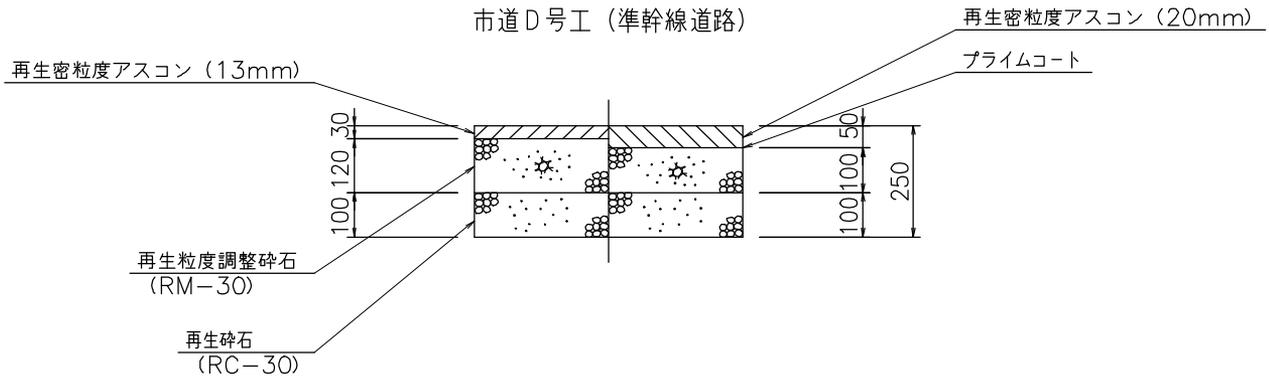
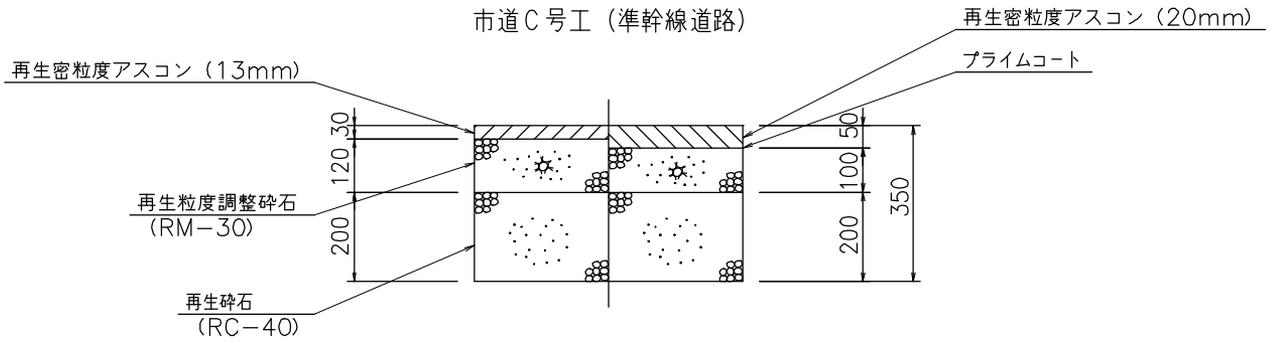


市道B号工 (幹線道路)



(注) 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

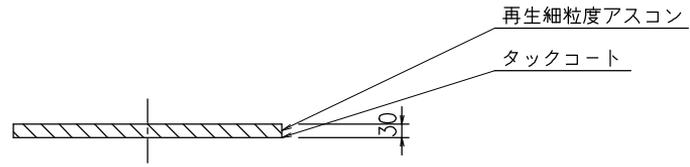
アスファルト舗装復旧断面図 2 (左:仮舗装復旧 右:本舗装復旧)



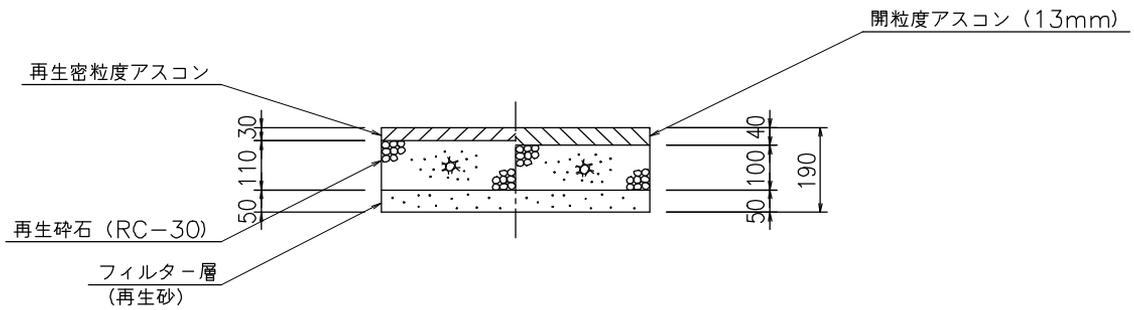
(注) 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

アスファルト舗装復旧断面図 3 (左:仮舗装復旧 右:本舗装復旧)

オーバーレイ



透水性舗装 (歩道)

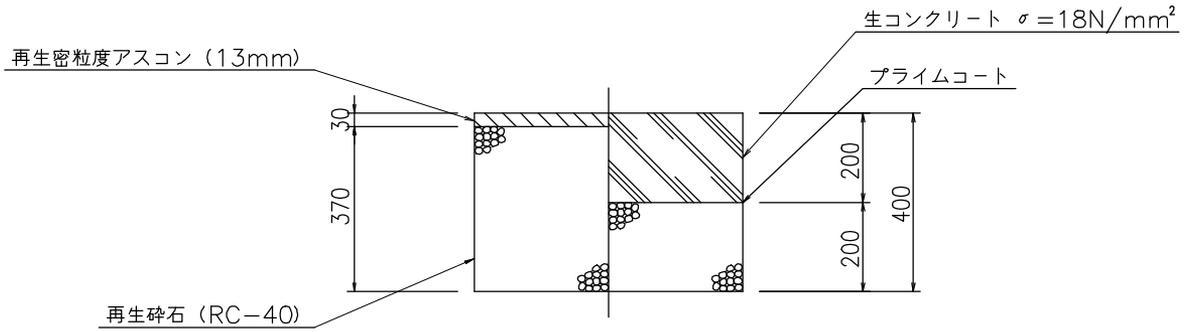


適用にあたっては、広島市の管理道のみとし、広島市管理以外の国道・県道及び府中町・坂町の管理道については、別途各道路管理者と協議すること。

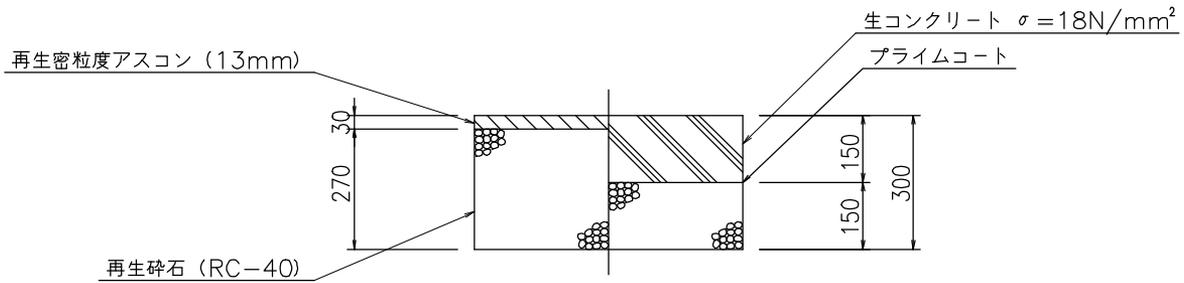
(注) 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

コンクリート舗装復旧断面図 (左:仮舗装復旧 右:本舗装復旧)

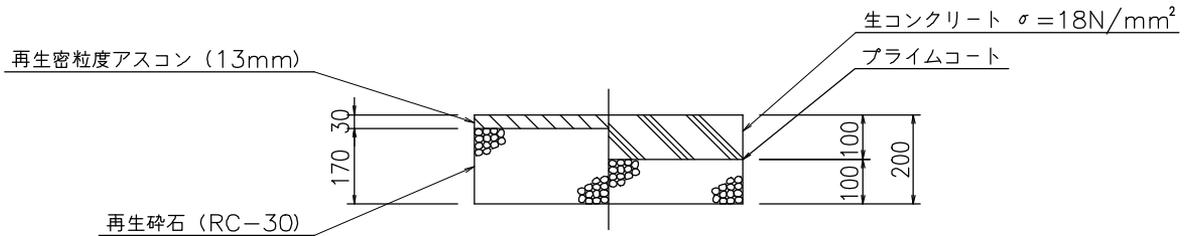
厚 20cm



厚 15cm



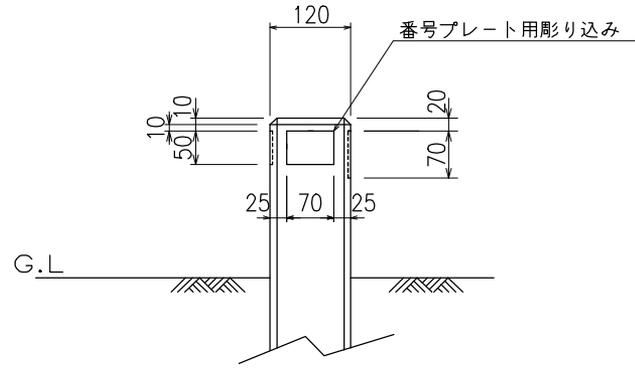
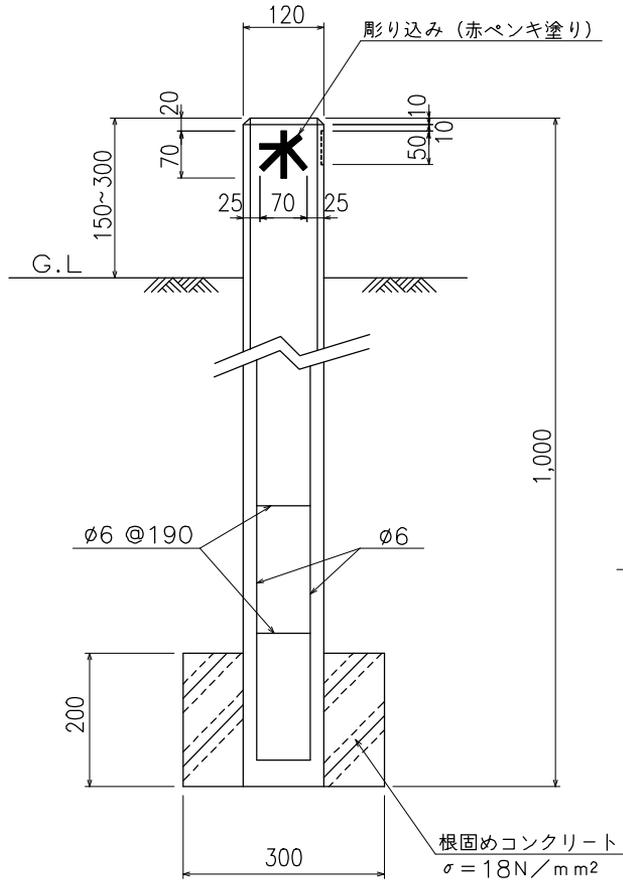
厚 10cm



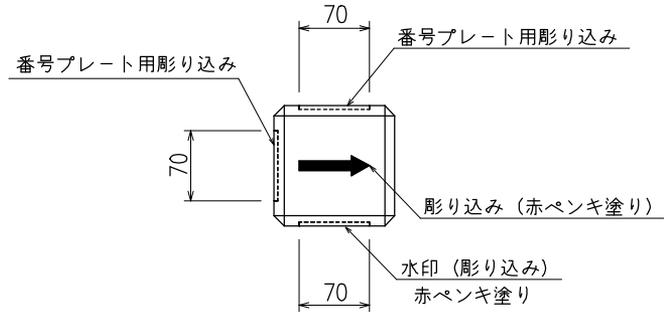
(注) 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

境界杭、明示板

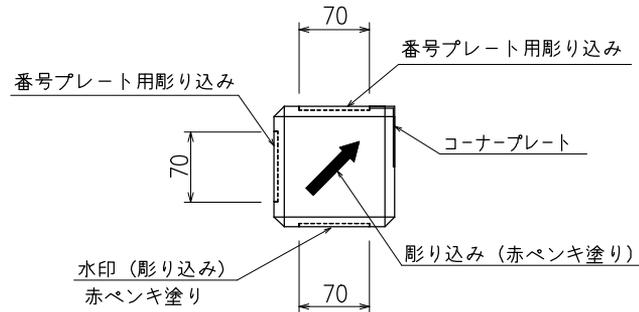
コンクリート杭



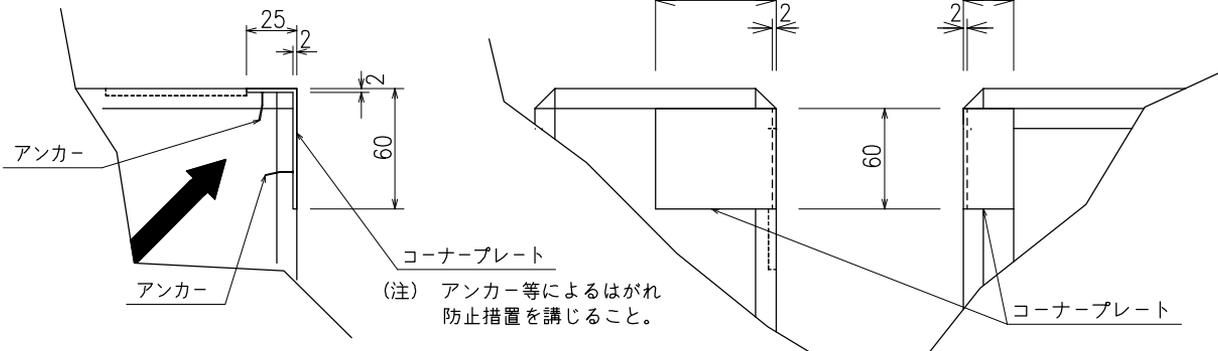
直線部用
(4方面取り)



屈折部用
(3方面取り)



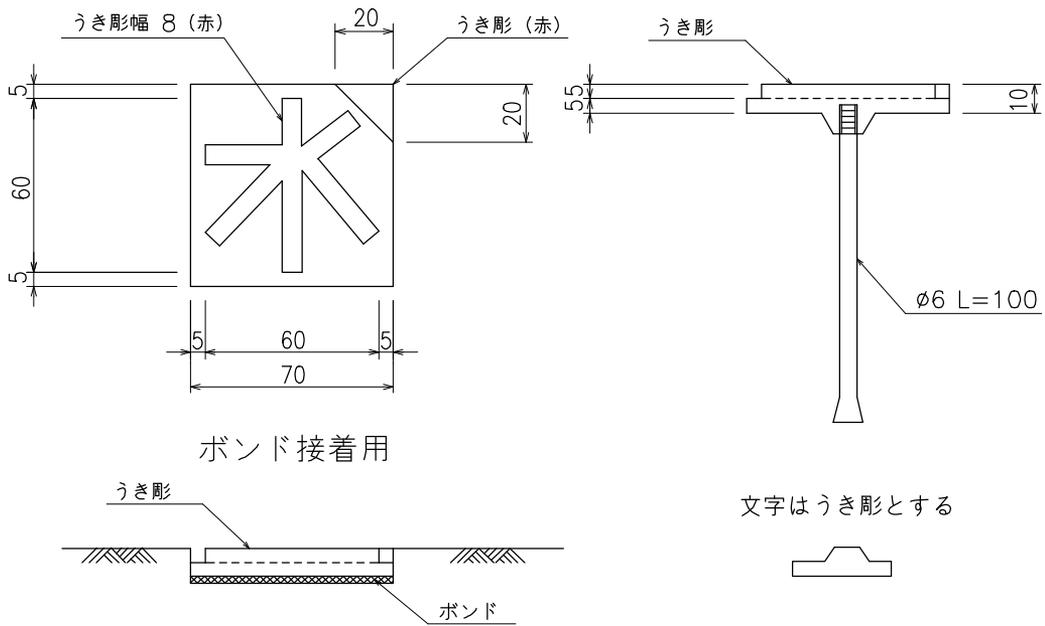
コーナープレート
(SUS304 t=2 60x85)



(注) 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

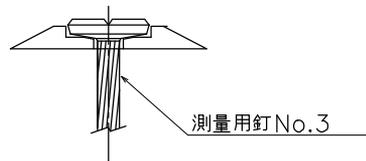
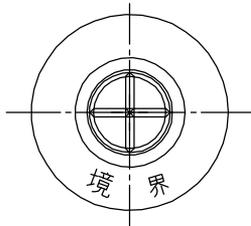
境界杭、明示板 2

鋳鉄製明示板



金属製明示板

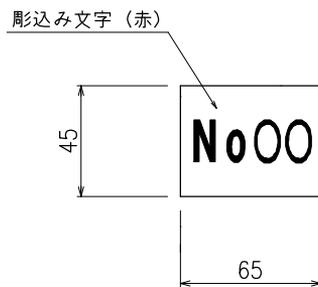
測量用釘ワッシャー
アルミ製(φ40×8×φ8)



測量用釘
No.3

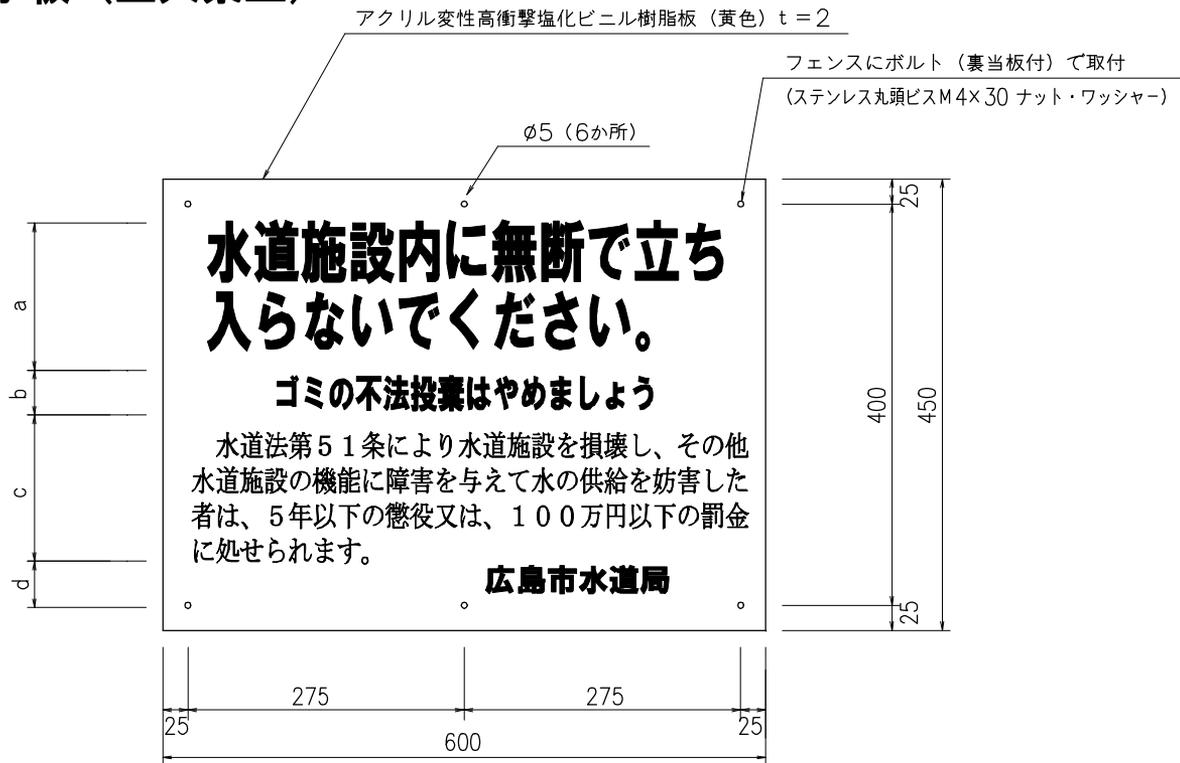


番号プレート
(アルミPL 65x45) t=3mm



(注) 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

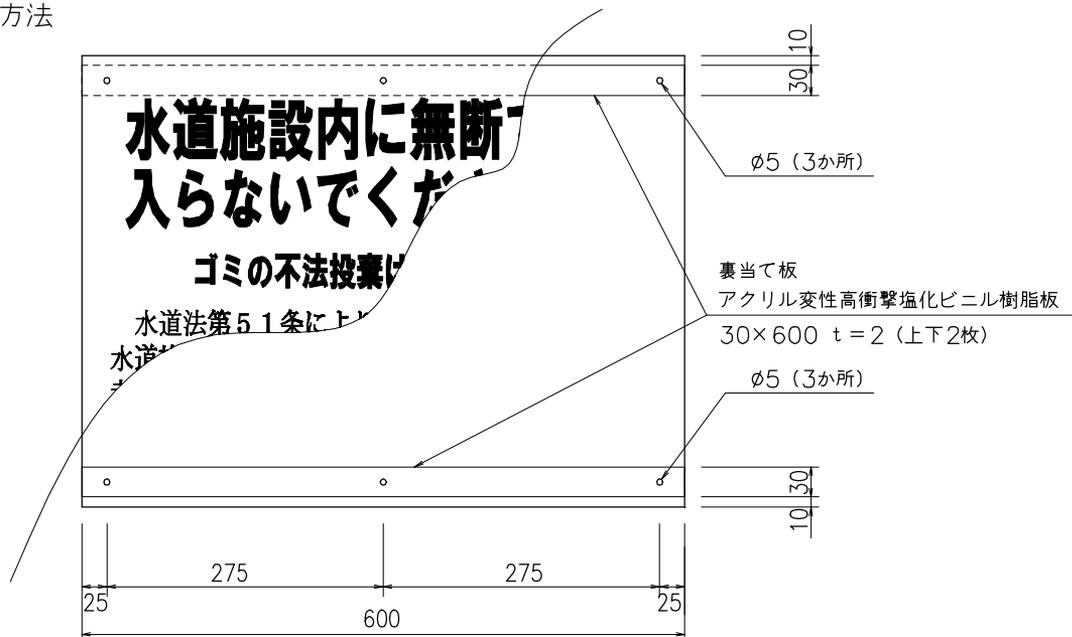
標示板（立入禁止）



仕様

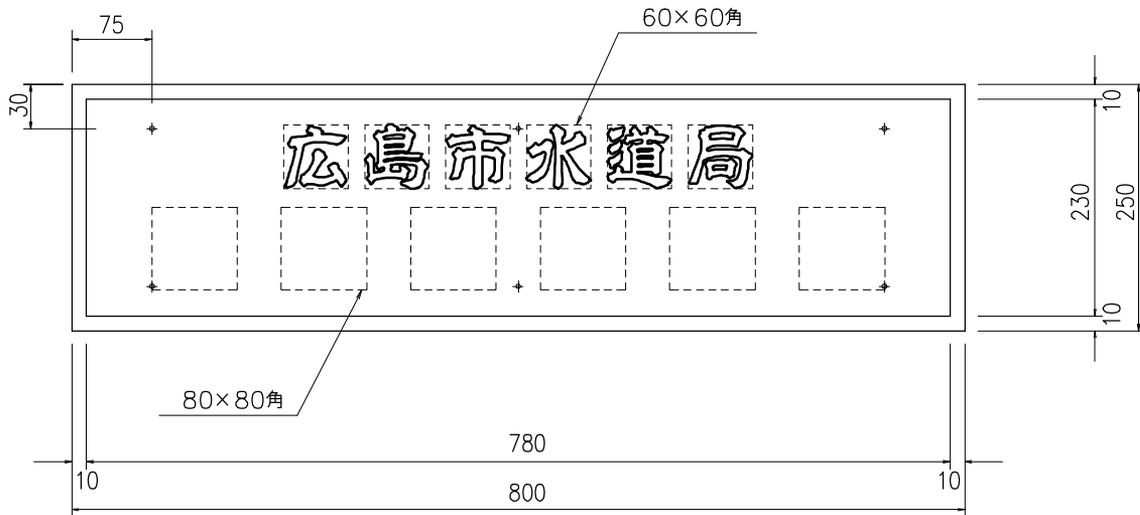
- 字体については、以下とする。
a : 52角ゴシック体
b : 30角ゴシック体
c : 20角明朝体
d : 25角ゴシック体
- ベース板は、アクリル変性高衝撃塩化ビニル樹脂板（黄色） $t = 2$ とする。
- 文字はすべて黒色とする。
- 裏当て板は標示板と同材質とし、幅30×長さ600が2枚とする。

取付方法



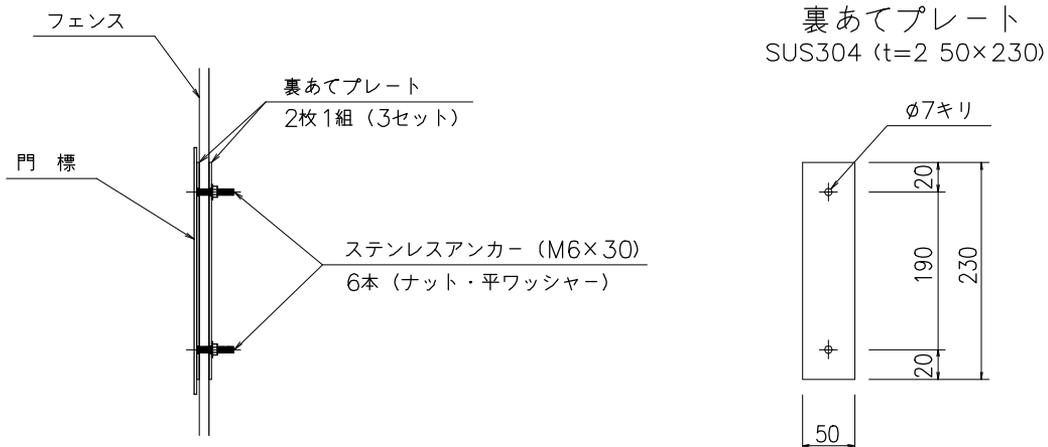
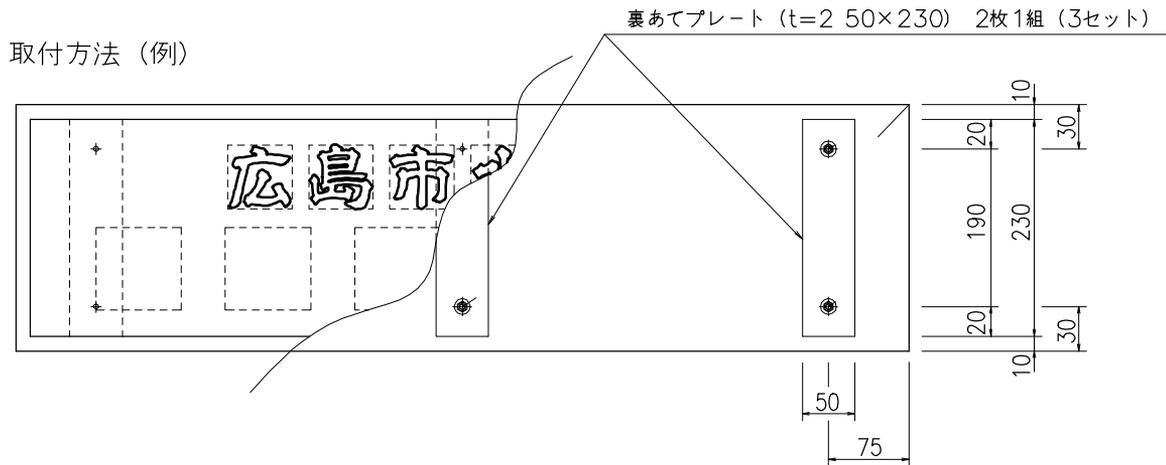
（注） 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

門 標



仕 様

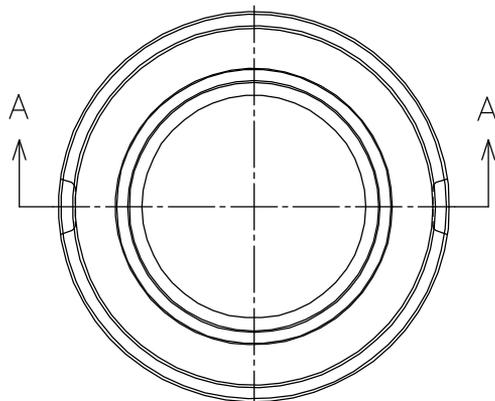
1. 字体について、広島市水道局は60×60 隸書体とし、施設名称は80×80 隸書体とする。
2. 門標は、ステンレス（SUS304）プレート、 $t=2$ 800×250とし、仕上げはヘアライン仕上げ（横目）とする。
また、枠及び文字はエッチング凸文字、凹部は黒色焼付仕上げとする。
3. 「□□□□□□」には、施設名称を明示する。



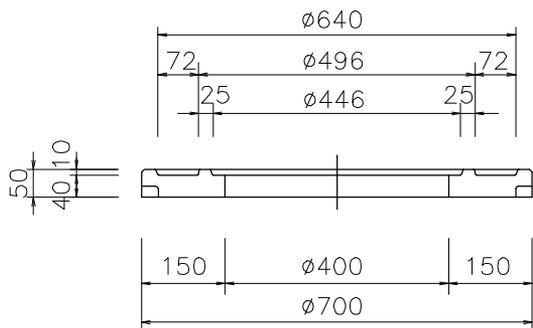
- (注) 1. 本図面は、フェンスに取付ける場合のものであり、フェンス以外への取付けについては検討すること。
2. 本図面の単位はmm、縮尺はフリーとする。

消火栓土留板、土留調整リング (空気弁・水抜栓・電気ハンドホール)

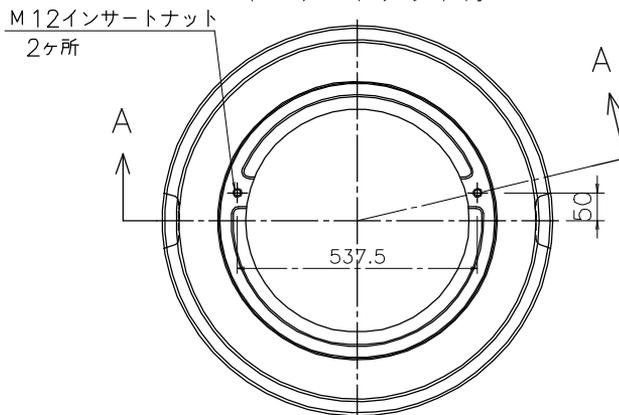
土留板 (40H)



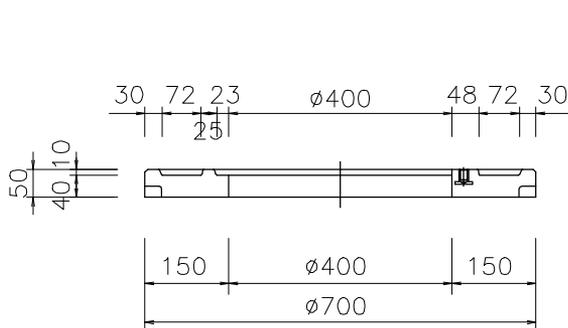
A - A 断面図



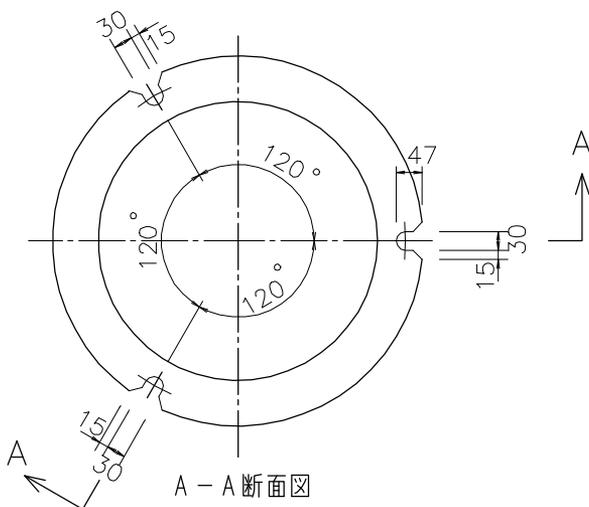
土留板 (40H)
インサートナット付



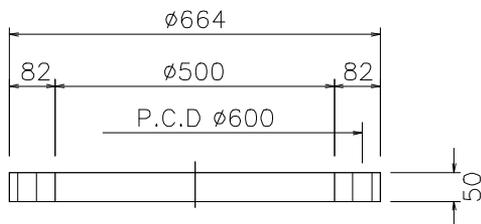
A - A 断面図



土留調整リング



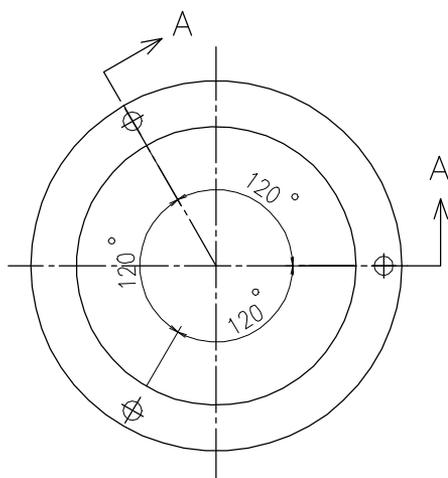
A - A 断面図



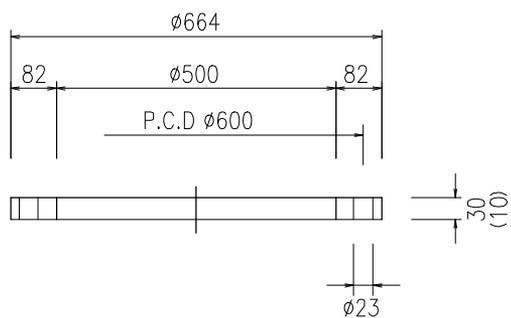
- (注) 1. 本図面の単位はmmで、縮尺はフリーとする。
 2. 調整リングを4cm以上使用する場合は、鉄蓋固定用ボルトを別途用意すること。

消火栓土留調整リング (空気弁・水抜栓・電気ハンドホール)

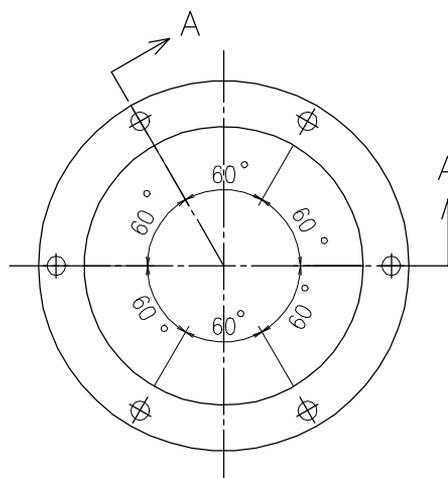
土留調整リング



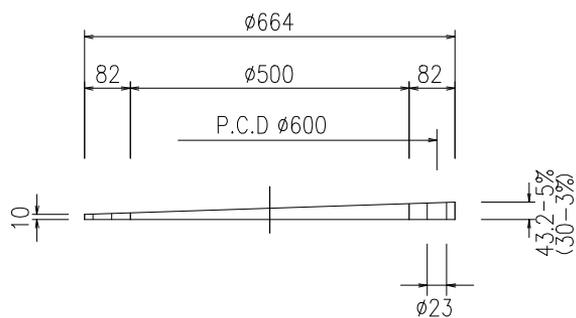
A-A断面図



土留調整リング (5%・3%)

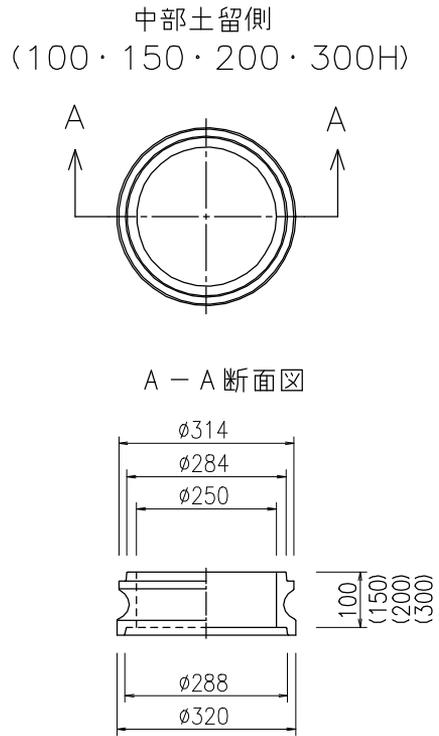
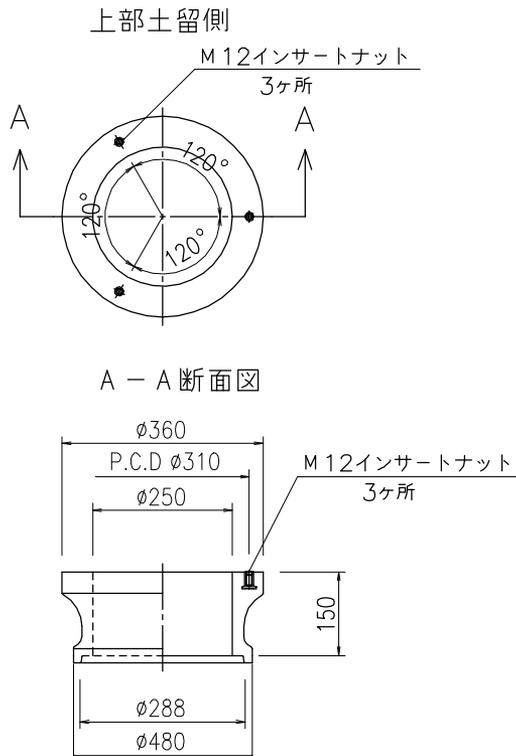


A-A断面図

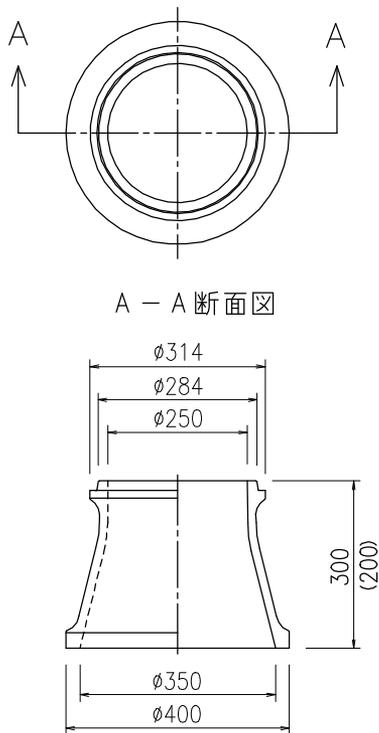


(注) 本図面の単位はmmで、縮尺はフリーとする。

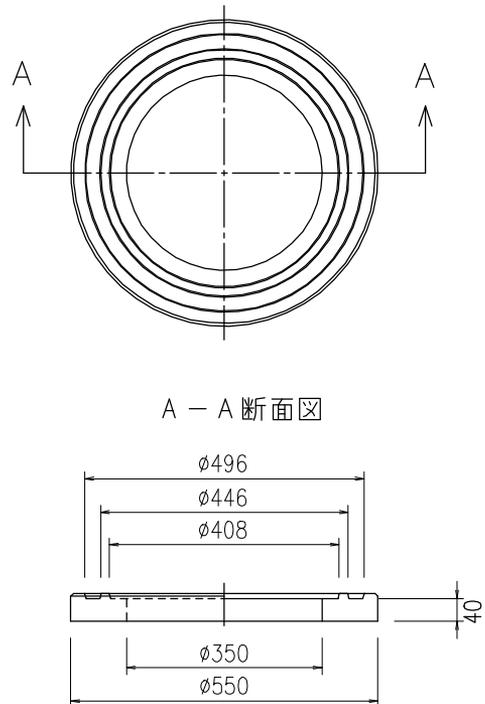
仕切弁（上部・中部・下部）土留側、土留板



下部土留側 (200・300H)



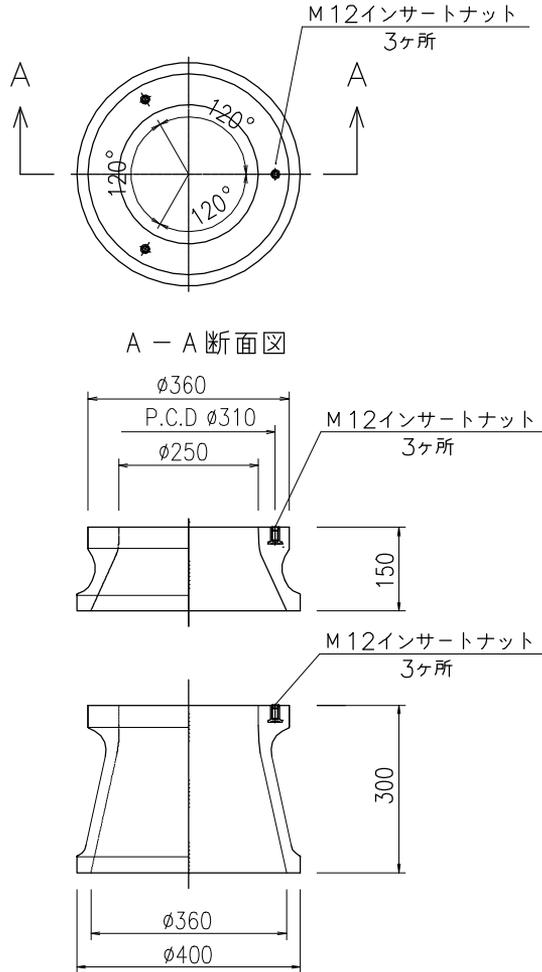
土留板 (40H)



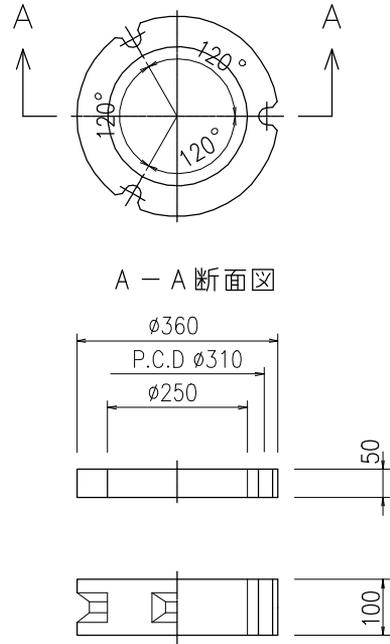
(注) 本図面の単位はmmで、縮尺はフリーとする。

仕切弁上下部土留側、土留調整リング

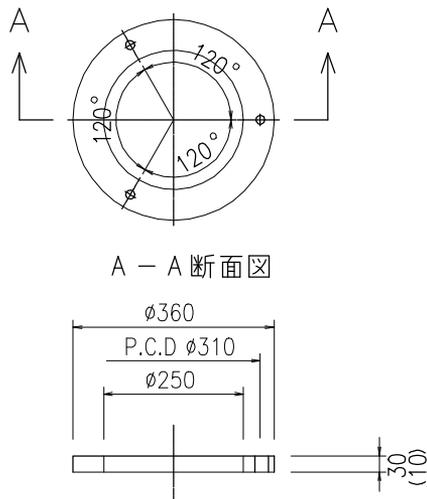
上下部土留側 (150・300H)



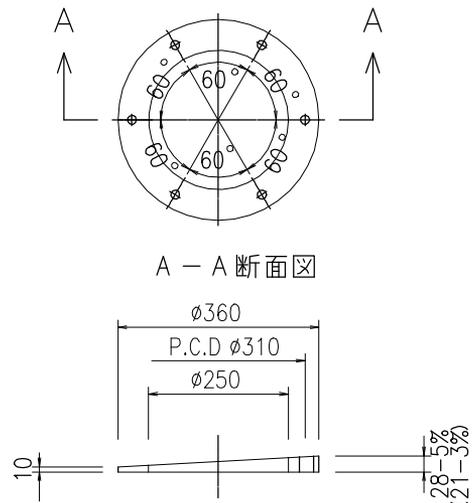
土留調整リング (50・100H)



土留調整リング (10・30H)

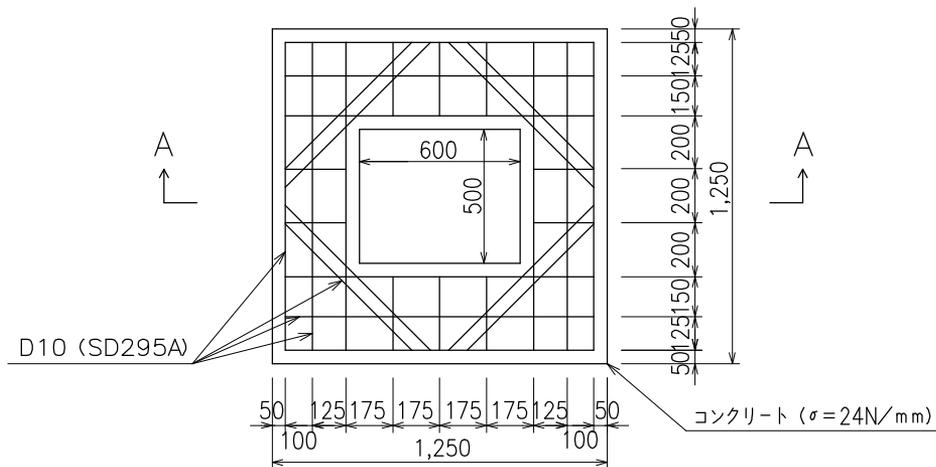


土留調整リング (3%・5%)

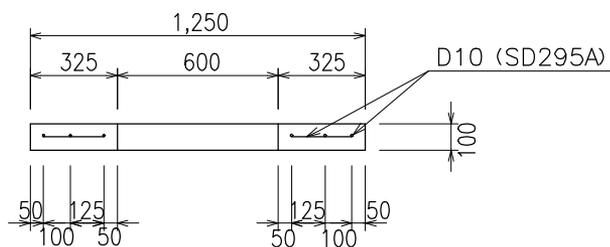


(注) 本図面の単位はmmで、縮尺はフリーとする。

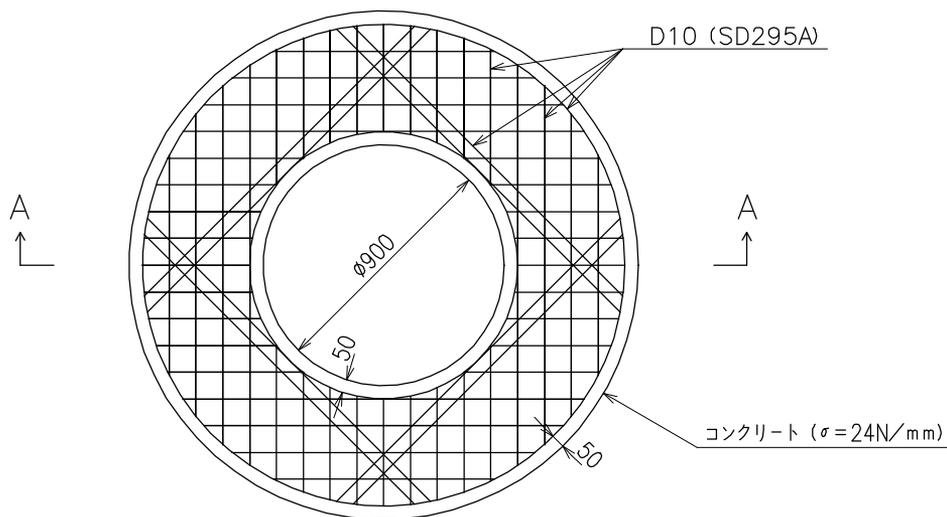
コンクリート土留板 1,250x1,250x100 (開孔 600x500)



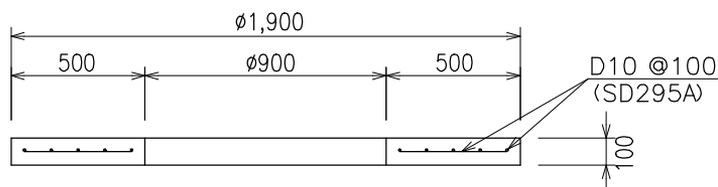
A-A 断面



コンクリート円形床版 $\phi 1,900 \times 100$ (開孔 $\phi 900$)

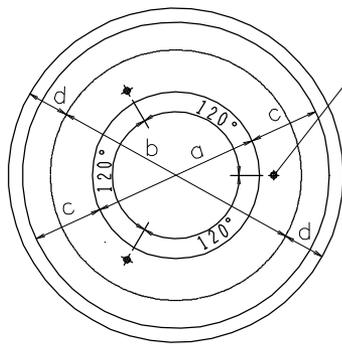
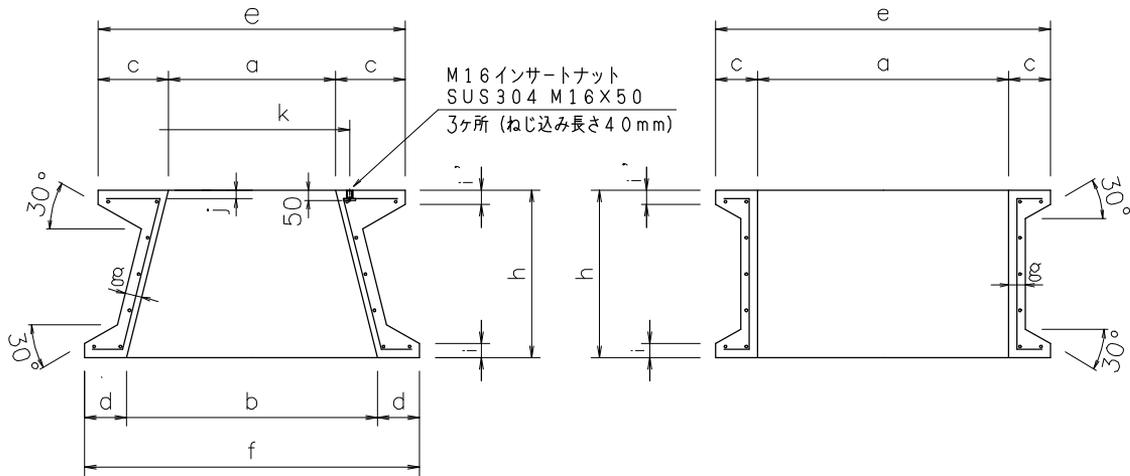


A-A 断面

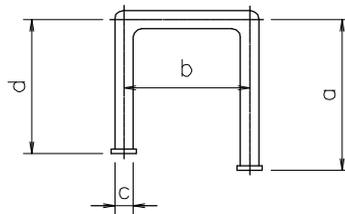
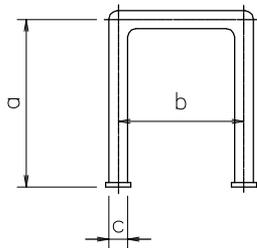
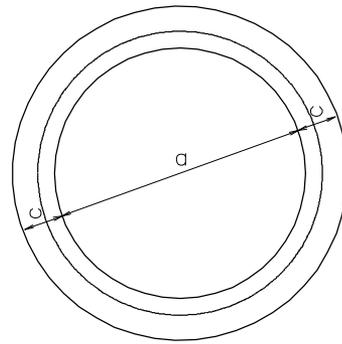


(注) 本図面の単位はmmで、縮尺はフリーとする。

コンクリート斜壁及び直壁 (JIS A 5372)



M16インサートナット
SUS304 M16×50
3ヶ所 (ねじ込み長さ40mm)



呼び名	寸法 (mm)			
	a	b	c	d
足掛金物 (現場用)	200	150	22	-
足掛金物 (側塊用)	180	150	22	160

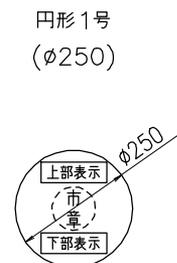
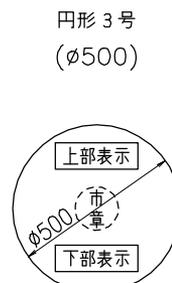
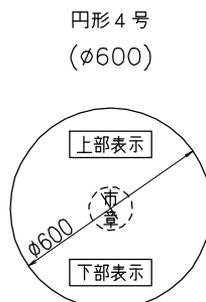
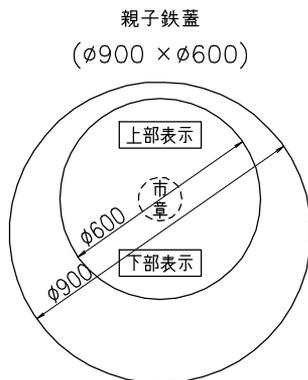
材質はFCDとする。

呼び名	寸法 (mm)													重量 (kg)
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	i'	j	k		
マンホール斜壁	600 (A)	600	900	250	150	1,100	1,200	60	300	50	60	30	700	318
	600 (C)	600	900	250	150	1,100	1,200	60	600	50	60	30	700	423
	600 (D)	600	1,200	250	150	1,100	1,500	70	600	50	60	40	700	539
	900 (B)	900	1,200	150	150	1,200	1,500	70	600	50	50	-	1,060	479
	1,200	1,200	1,500	150	150	1,500	1,800	80	600	50	50	-	-	652
マンホール直壁	900 (A)	900	-	150	-	1,200	-	60	300	50	50	-	-	244
	900 (B)	900	-	150	-	1,200	-	60	600	50	50	-	-	374
	1,200 (A)	1,200	-	150	-	1,500	-	70	300	50	50	-	-	326
	1,200 (B)	1,200	-	150	-	1,500	-	70	600	50	50	-	-	527
	1,500 (A)	1,500	-	150	-	1,800	-	80	300	50	50	-	-	415
	1,500 (B)	1,500	-	150	-	1,800	-	80	600	50	50	-	-	699

(注) 本図面の単位はmmで、縮尺はフリーとする。

鉄蓋使用基準

種 別	区 分	工 種	蓋 表 示		
			上 部	下 部	色
円形 1号 ($\phi 250$)		仕切弁室 (公設)	仕切弁	広島市	色なし・黄・黄白・赤
		仕切弁室 (私設)	仕切弁	私 設	
円形 3号 ($\phi 500$)		単口消火栓室	消火栓	広島市水道局	黄
		急速空気弁室 (13~25)	空気弁	広島市水道局	
		漏水測定器取付設備	測定室	広島市水道局	
		水抜栓	水抜栓	広島市水道局	
		電気ハンドホール	電 気	広島市水道局	
		単口空気弁室	空気弁	広島市水道局	
円形 4号 ($\phi 600$)		補修弁付双口消火栓室	消火栓	広島市水道局	黄
		空気弁付単口消火栓室	消火栓	広島市水道局	黄
		補修弁付空気弁付単口消火栓室	消火栓	広島市水道局	黄
		補修弁付急速空気弁室 (25~150)	空気弁	広島市水道局	
		ゴムシート形バタフライ弁室 (400~600)	バタフライ弁	広島市水道局	
		電気マンホール	電 気	広島市水道局	
		補修弁付単口空気弁室 (13~25)	空気弁	広島市水道局	
		双口空気弁室 (75~100)	空気弁	広島市水道局	
		立形ベアリングギヤー付仕切弁室	仕切弁	広島市水道局	
		減圧弁室	減圧弁	広島市水道局	
飲料水兼用型耐震性貯水槽	耐震性貯水槽	広島市			
円形 5号 ($\phi 900$)		ゴムシート形バタフライ弁室 (700~)	バタフライ弁	広島市水道局	
		メタルシート形バタフライ弁室	バタフライ弁	広島市水道局	
		減圧弁室 (マンホール型: 口径75~150)	減圧弁	広島市水道局	
親子鉄蓋 ($\phi 900 \times \phi 600$) <small>(原則として自動車通行のない場所に設置すること)</small>		ゴムシート形バタフライ弁室 (700~)	バタフライ弁	広島市水道局	
		減圧弁室 (マンホール型: 口径75~150)	減圧弁	広島市水道局	
		飲料水兼用型耐震性貯水槽	耐震性貯水槽	広島市	



(注) 本図面の単位はmmで、縮尺はフリーとする。